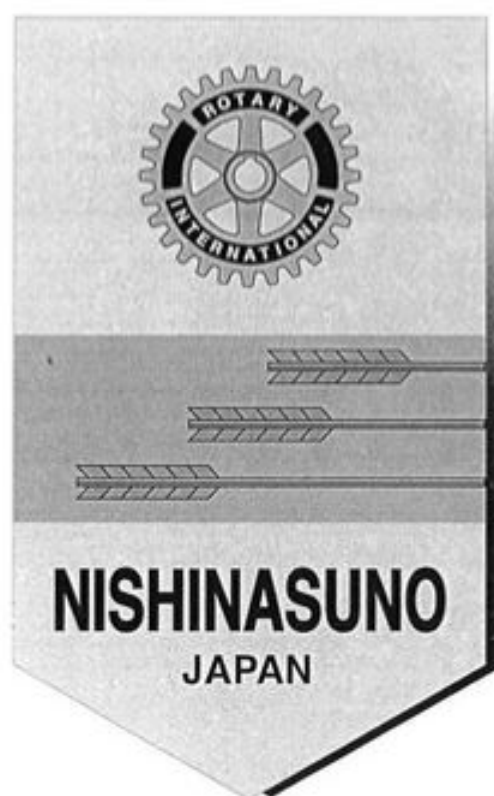


創立40周年記念誌



国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

目 次

クラブバナー・認証状	1
式典参加者集合写真	2
思い出のアルバム	3
前夜祭プログラム	9
式典プログラム	13
祝賀懇親会プログラム	14
来賓並びに招待者御芳名	16
実行委員長挨拶	17
歓迎のことば	18
感謝状及び記念事業・謝辞	19
祝 辞	20
2006～2011のあゆみ	29
ガバナー公式訪問（第37代～41代）	29
歴代会長テーマ並びに方針	32
特集 「記念例会を振り返って」伊藤俊三	43
「鈴木基一PGを偲んで」関谷直人	45
「ロータリアンとして想うこと」鈴木基一	47
歴代会長・幹事への感謝状	52
ロータリー財団関係	60
表彰記録	61
米山記念奨学生受け入れ	61
会員増減の状況	62
会 員 紹 介	62
哀 悼	66
実行委員会組織	67
編 集 後 記	68

西那須野ロータリークラブ「バナー」由来



旧西那須野町も旧塩原町もかつて広大な那須の原野であった。鎌倉幕府三代目の将軍となった源実朝が、父頼朝の那須野ヶ原の狩りを思い浮かべて詠んだ。

武士の矢なみつくらう小手の上に
あられたばしる那須の篠原
(金槐和歌集)

という一首がある。

これから昔を偲んで矢羽を象徴化した。またロータリーの活動が的を得た活動として推進されることを祈願して、という意味も含めてある。

色彩的にはバックの象徴色は清潔さを、コバルトは深遠で澄んだ空、永劫を象徴して、地名のエンジ色は奉仕の理想に燃える象徴色でもある。

(デザイナー 関谷 次男氏)



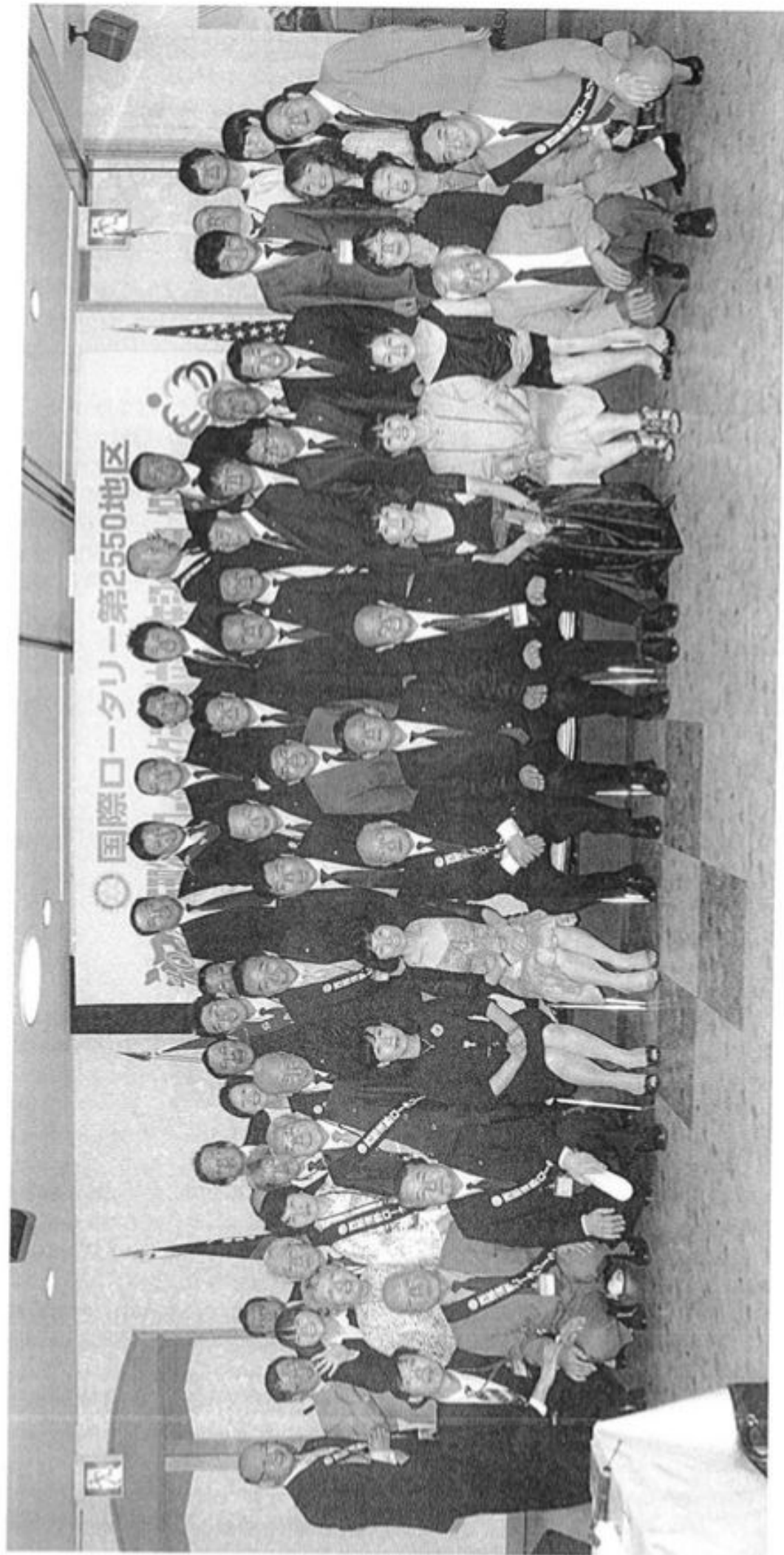
認 証 状 訳 文

この西那須野ロータリークラブは正式に結成せられ、且つその役員および会員を通じ、国際ロータリーの定款並びに細則を遵奉することを誓約することは、本証書を受納することによって立証せられた。よってここに国際ロータリーの会員たることを正式に承認せられ、且つその会員としての権利と特典を享受するものであることを証明する。

その証として国際ロータリーの印章を捺し正規の権限を有するその役員が1971年12月10日ここに署名するものである。

R. I 会長	アンストG. ブライトホルツ
事務総長	ジョーンR. ミーンズ
地区ガバナー	瀬 沢 信 二

式典参加者集合写真



平成23年9月4日 於 割烹 いとう







式典





祝賀懇親会



姉妹及び友好クラブとの交歓前夜祭 — プログラム —

と き 9月3日(土) 17:30~20:00

ところ 乃木温泉ホテル

司 会 式典SAA 森木 隆一

1. 入 場 (東水原、桃園)
2. 開会のことば 実行委員長 池 嶋 英 哲
3. 歓迎のことば 会 長 片 柳 洋
4. 来訪姉妹友好クラブ代表挨拶
韓国東水原R.C会長 宋 洙 吉
台湾桃園R.C会長 陳 昌
5. 記念品贈呈 会 長 片 柳 洋
6. 乾 杯 実行副委員長 岡 部 稔
7. 懇 親 会
8. 閉 会 ロータリーソング (手に手つないで)
高 橋 智 純

交歓前夜祭 歓迎のことば

西那須野ロータリークラブ

会長 片柳 洋



西那須野ロータリークラブ創立40周年記念式典を挙げるにあたり、西那須野ロータリークラブを代表し、本日ご臨席をいただきました皆様一言御礼を申し上げます。

海外姉妹クラブである韓国東水原ロータリークラブ、台湾桃園ロータリークラブの皆さん、海を越え空を飛び、今回の式典に参加していただき本当にありがとうございました。今夜は前夜祭と言うことで、私達クラブは普段着で皆様をお迎えし、肩の力を抜いて懇親を深めたいと思います。昨夜からの食事会、そしてお茶の会、ゴルフ、日光方面への観光とお疲れとは思いますが共に一夜を楽しみたいと思います。

本日は時間の許す限り会員一同、心を込めてお相手を致します。有難うございました。



交歓前夜祭挨拶

韓国東水原ロータリークラブ

会長 宋 洙 吉



尊敬する国際ロータリー2550地区、西那須野ロータリアンの皆様！

貴クラブ創立40周年の記念式に臨席することができ、誠に喜びにたえません。国際ロータリー3750地区の東水原ロータリークラブの全会員を代表致しまして、お祝いを申し上げます。

2007年10月、あのときの感動は耳元になおも新たに響いております。当クラブ創立25周年の記念式に貴クラブ会長の磯ヶ谷正徳様をはじめとする18人の方々がご臨席くださり温かい祝辞を頂きました。この場を借りて再び心より感謝申し上げます。

1984年、国際ロータリー2550地区の西那須野ロータリークラブと姉妹クラブの関係を結んで27年の年月が流れました。双方のクラブは歴代会長の皆様及び会員の皆様の努力により、深い友情を構築して来ました。これからも良い関係を維持することによりさらに光輝く宝石になることを祈願し、2012年10月に本クラブ創立30周年記念式典に貴クラブを正式にご招待します。貴クラブのご臨席をいただければ、式典が最も輝くものになると思います。

40年の伝統と千年の未来に輝く西那須野ロータリアンの皆様！愛を込めてお祝い申し上げます。

ソロモンの知恵と愛情のこもった心で、双方のクラブはカルヤン・パネルジーRI会長のテーマである「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」喜びとし、地域社会に対する貢献とともに海を渡り国境を越え、密接な関係維持を促進するように努力しましょう。

最後になりますが、貴クラブの輝くご発展と会員の皆様の健勝を祈願致します。40年の伝統と千年の未来に輝く西那須野ロータリークラブよ。永遠に！

有難う御座いました。



ROTARY CLUB OF SUWON EAST
동수원로타리클럽
ROTARY INTERNATIONAL, DISTRICT 3750

本会 韓国 水原市 仁道洞 仁道洞 2 層 108-16 3F, INHO DONG PALDAL 2-
 電話 82-31-236-7622 FAX 82-31-236-7623 SUWON 442-041, REPUBLIC OF KOREA
 442-041 H-044 82-31-236-7622 H-044 82-31-236-7623

.....
 支 店 西原東部 RC 本部 2011. 9. 27
 幹 事 宋 洙 吉 副幹事 宋 洙 吉
 幹 事 宋 洙 吉

.....
 本会 創立 40 周年 記念式典 2012 年 10 月 27 日 (土) 18:00 開催
 本会 創立 40 周年 記念式典 2012 年 10 月 27 日 (土) 18:00 開催
 本会 創立 40 周年 記念式典 2012 年 10 月 27 日 (土) 18:00 開催
 本会 創立 40 周年 記念式典 2012 年 10 月 27 日 (土) 18:00 開催

.....
 40 年の 伝統 と 千年 の 未来 に 輝 く 西 那 須 野 ロ タ リ ア ン の 皆 様
 40 年の 伝統 と 千年 の 未来 に 輝 く 西 那 須 野 ロ タ リ ア ン の 皆 様
 40 年の 伝統 と 千年 の 未来 に 輝 く 西 那 須 野 ロ タ リ ア ン の 皆 様
 40 年の 伝統 と 千年 の 未来 に 輝 く 西 那 須 野 ロ タ リ ア ン の 皆 様



交歓前夜祭挨拶

台湾桃園ロータリークラブ
会長 陳 昌



西那須野ロータリークラブ片柳会長、会員の皆さん、
こんばんは。

まず、お忙しい中、遠いところから成田空港まで私たちを迎えたことを深く感謝いたします。また、私たちの宿泊ホテルの世話をいただき誠にありがとうございます。

ます。今度11月に桃園扶輪社の式典のときに私たちの番になります。

貴社の皆様及びご家族の皆様のご参加を歓迎いたします。

今回の訪問は両社の姉妹関係締結25周年の時に植えた記念樹を見えることを期待しています。貴社の皆様は11月に桃園に行く時に私たちは昨年に植えた記念樹を見に行くつもりです。樹は大きくなり、これも私達の両社の姉妹情誼が永遠に持続的に変わらぬ更にしっかりしていることを象徴となります。11月に桃園で会えることを期待しています。

ありがとうございました。

9月8日の夜祭挨拶

桃園扶輪社
会長 陳 昌 Chen

西那須野RC片柳会長及全體社員さま宛

首先非常感謝貴社及於百忙之中還專程千里遠道到成田機場接我們，並
感謝貴社代為安排住宿的飯店，給貴社增添不少麻煩，將 11 月搬到桃園扶輪社
校禮堂內時，歡迎貴社社員及貴屬踴躍參加。

這次來台期待能夠看到貴社再植的姊妹樹 25 週年時種植的紀念樹，貴
社於 11 月回桃園時，我們也會再去看看去年的樹木已經又長大了不少，這也是
證實我兩社的姊妹情誼歷久遠持續不變，並更加穩固，期待 11 月的見面，期
望大家！

創立40周年式典プログラム

—プログラム—

と き 9月4日(日) 登録受付 10:00 点鐘 10:30
 ところ 割烹 いたう
 司 会 星野 仁

- | | | |
|-----------------------|-------------|-----------|
| 1. 点 鐘 | 会 長 | 片 柳 洋 |
| 2. 開式のことば | 実行副委員長 | 岡 部 稔 |
| 3. 参加各国国歌斉唱(韓国、台湾、日本) | | |
| 4. ロータリーソング「奉仕の理想」 | ソングリーダー | 高 橋 智 純 |
| 5. 来賓紹介 | 会 長 | 片 柳 洋 |
| 6. 物故会員に対して黙祷 | | |
| 7. 挨拶 | 実行委員長 | 池 嶋 英 哲 |
| 8. 歓迎の挨拶 | 会 長 | 片 柳 洋 |
| 9. 記念事業披露 | 記念事業委員会 | 益 子 浩 |
| 10. 目録贈呈 | 会 長 | 片 柳 洋 |
| 11. 目録贈呈 | ガバナー | 比 企 達 男 |
| 12. 感謝状贈呈 | 会 長 | 片 柳 洋 |
| 創立会員・歴代会長 (36代~40代) | | |
| 13. 受賞者代表謝辞 | 第36代会長 | 大 原 栄 |
| 14. 受賞者謝辞 | 養徳園園長 | 大 福 田 雅 章 |
| | 氏家養護園園長 | 大 谷 順 一 |
| 15. 来賓祝辞 | 第2550地区ガバナー | 比 企 達 男 |
| | 韓国東水原R.C会長 | 宋 洙 吉 |
| | 台湾桃園R.C会長 | 陳 昌 昌 |
| | 新座R.C会長 | 金 子 幸 男 |
| | 郡山安積R.C会長 | 石 塚 征 夫 |
| | 茂原中央R.C会長 | 志 田 延 子 |
| | 衆議院議員 | 渡 辺 喜 美 |
| | 那須塩原市長 | 栗 川 仁 |
| 16. 祝電披露 | 幹 事 | 角 橋 徹 |
| 17. 閉式のことば | 実行副委員長 | 岡 部 稔 |
| 18. 点 鐘 | 会 長 | 片 柳 洋 |
| 19. 諸事お知らせ | 式典 S A A | 星 野 仁 |

－祝賀懇親会プログラム－

と き 9月4日(日) 12:30～14:30
ところ 割烹 いとう
司 会 生駒 憲一

1. 開宴のことば 実行副委員長 岡 部 稔
2. 挨拶 会 長 片 柳 洋
3. 乾 杯 式 典 顧 問 郡 司 昌 佳
4. 祝 宴 懇 親 会
記念アトラクション
「津軽三味線」 小山貢清世 他4名
5. ロータリーソング (手に手つないで) 高 橋 智 純
6. 閉宴のことば 実行副委員長 大 原 栄

記念式典(姉妹・友好クラブ関係)

☆第3750地区

韓国東水原R.C(姉妹クラブ) —————

11-12年度会長	宋	洙	吉	殿
国際奉仕委員長	李	龍	範	殿
11-12年度總務	金	紀	昊	殿
10-11年度会長	金	昌	炫	殿
令夫人	李	運	實	様
創立30周年準備委員長	朴	泳	寬	殿
令夫人	孫	銀	玉	様
04-05年度会長	朴	完	植	殿
令夫人	李	順	玉	様
会 員	李	昌	雨	殿
令夫人	全	海	慶	様
会 員	李	在	炳	殿
令夫人	金	鍾	信	様
会 員	尹	錫	贊	殿
会 員	崔	相	國	殿

☆第3500地区

台湾桃園R.C(姉妹クラブ) —————

会 長	陳	昌	殿
I・G	許	勝	傑
国際委員長	簡	嘉	憲
親睦委員長	傳	冠	群
次期会長	翁	俊	民

☆第2570地区

新座R.C(友好クラブ) —————

会 長	金子	幸	男	殿
幹 事	神谷	浩	一	殿
会長エレクト	森田	輝	雄	殿
バスト会長	宮川	勝	平	殿
会 員	石原	勇	介	殿

☆第2530地区

郡山安積R.C(友好クラブ) —————

会 長	石塚	征	夫	殿
幹 事	大川原	利	信	殿
会 員	伊藤	幸	夫	殿
〃	伊野	勝	彦	殿
〃	小野塚	昇	一	殿
〃	高 縁	勝	一	殿
〃	小橋	達	夫	殿
〃	鈴木	聰		殿
〃	富塚	孝	雄	殿
〃	根本	良	一	殿
〃	挽野	喜	孝	殿
〃	日野	敬		殿
〃	矢吹	智	喜	殿

☆第2790地区

茂原中央R.C(友好クラブ) —————

会 長	志田	延	子	様
幹 事	小林	宏	子	様
直前会長	片岡	靖	幸	殿
〃	田辺	文	孝	殿
〃	今井	道	之	殿
〃	穂葉	三	千	雄
〃	岡	武		殿
〃	進藤	義	男	殿
〃	山口	勝	治	殿
〃	中村	憲	太	郎

来賓並びに招待者御芳名

第2550地区ガバナー	比 企 達 男 殿 (宇都宮陽東R.C)
バストガバナー	半 田 久 一 殿 (黒磯R.C)
第一グループガバナー補佐	月 江 寛 智 殿 (黒磯R.C)
大田原R.C会長	長 嶋 一 郎 殿
〃 幹事	大 橋 保 殿
黒磯R.C会長	檜 山 達 郎 殿
〃 幹事	高 木 茂 殿
黒羽R.C会長	佐 藤 琢 夫 殿
〃 幹事	丹 野 洋 殿
那須R.C会長	笠 原 智 江 様
〃 幹事	金 沢 清 一 殿
塩原R.C会長	鈴 木 汎 殿
〃 幹事	高 田 修 一 殿
大田原中央R.C会長	千 昌 永 殿
〃 幹事	花 塚 明 殿
衆議院議員	渡 辺 喜 美 殿
那須塩原市長	栗 川 仁 殿
ライオンズクラブ会長	林 雅 美 殿
児童養護施設 養徳園園長	福 田 雅 章 殿
児童養護施設 氏家養護園園長	大 谷 順 一 殿
西那須野R.C米山記念奨学生	劉 大 鵬 殿
〃	グェン・チャン・ニヤー・フーン 様
〃	林 亜 嫻 様
通 訳 (韓国)	崔 允 珠 様 (米山記念奨学生黒羽R.C)
	梢 相 大 殿

挨拶

40周年記念実行委員会

委員長 池 嶋 英 哲



3月11日の東日本大震災の復興がまだ緒に就いたばかりの時期ですが、本日、ここに西那須野ロータリークラブ創立40周年記念式典を挙げていただけます事は、私ども会員一同喜びとするところでございます。

国際ロータリー第2550地区比企達男ガバナーを始め、バスターガバナー、ロータリー関係の皆様、海外姉妹クラブ韓国3750地区東水原RC、台湾3500地区桃園RC、国内友好クラブ埼玉2570地区新座RC、福島2530地区郡山安積RC、千葉2790地区茂原中央RCの皆様、遠方より多数お越しいただき心より感謝申し上げます。また、常日頃お付き合いを頂いております第1グループ各クラブ会長、幹事の皆様にもご参加いただき錦上花を添えて頂きましたこと、重ねてお礼申し上げます。

ご来賓といたしまして、衆議院議員渡辺喜美先生、栗川仁那須塩原市長、および、各関係者、米山奨学生、米山学友、会員の奥様にはご多忙の中参加賜り心よりお礼と感謝申し上げます。

西那須野RC、40年の歴史は、チャーターメンバーで初代、2代会長の鈴木基一PGのご尽力により、1971年11月8日の創立総会、12月10日RI加盟承認を受け、日本で1084番目、県内24番目のクラブとして始動いたしました。

創立時のガバナー瀧澤信二様、宇都宮クラブ初代会長江部順治様、当時の地区幹事坂本守様、宇都宮西クラブの斎藤七五三男様には大変お世話になったと伺っております。

創立会員27名で、現在3名が在籍しております。会員は39名で現在までの在籍者は244名でございます。

この間、歴代会長、幹事、会員皆様の奉仕のおかげにより、「特別世界理解平和賞」、「RI意義ある業績賞（5回）」、「RI会長賞（5回）」、「米山功労クラブ（33回）」、「ガバナー賞」等数多くの賞を受賞しております。また、本日展示しておりますのでご覧になられた方もおいでと存じますが、鈴木基一PGが、ロータリー活動に対しますご功績により「超我の奉仕賞」を受賞されております。

ロータリーの創始者ポールハリスが、20世紀初頭、大恐慌で商業道德の欠如が目につくようになったシカゴにおいて、寂しさに耐えきれず、3人の友人と語らってロータリークラブという会合を考えました。その時代と同じように、世界的な景気の低迷、東日本大震災の影響等で会員の減少が当クラブでも顕著になってきておりますが、このような時だからこそ、本日の記念式典を機にロータリーの当初の目的に戻り、一步一步前進するための機会にしたいと思っております。

今回の40周年では、記念事業といたしまして児童養護施設「養徳園」との取り組みの中で、特に、不幸にも虐待されて成長した子供たちの、勉強したいという思いを重く受け止め、大学へ進学するための基金の立ち上げを最大の目標としております。

そして、この輪が第2550地区に広がっていきます事を期待しております。私たちは今日の感激を胸に、今後更にロータリー発展のため尽力していく所存でございます。ガバナー始め関係各位のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、ご来賓の皆様、ならびに関係者各位に御礼と感謝をい申し上げ挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

歓迎のことば

西那須野ロータリークラブ

会長 片柳 洋



本日ここに、西那須野ロータリークラブ創立40周年記念式典を挙行政致すべくご案内を差し上げましたところ、公私共にご多忙の中ご臨席賜りましたR.I第2550地区比企達男ガバナー、半田久一P.G、第一グループ月江ガバナー補佐、本日は誠に有難うございます。

また、遠く海外からの韓国東水原ロータリークラブ、台湾桃園ロータリークラブあわせて20名を越す姉妹クラブの皆様、そして国内友好クラブでは、新座ロータリークラブ、郡山安積ロータリークラブ、茂原中央ロータリークラブ総勢29名の皆様、ようこそおいで下さいました。

なおまた、私共の親クラブであります大田原ロータリークラブ長嶋会長、大橋幹事様を始め第一グループ内の各クラブ会長、幹事の皆様、西那須野ライオンズクラブ会長林雅美様、一般のご来賓では那須塩原市長栗川仁様、代議士渡辺喜美様、40周年記念事業の対象施設福田、大谷両園長様のご臨席のもと、この様に盛大に開催出来ますことは誠に喜ばしく衷心より厚く御礼申し上げる次第で御座います。

千年に一度と言われるこの度の震災、この様な時のご参加であります。私たちは皆様のロータリーの友情を決して忘れません。特に桃園の皆様から付託されたこの度の支援金、今回の基金の共同資金とさせて頂きました。

私たちは国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー氏のメッセージ「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」をしっかりと心に止め、今回の震災が私たちに教えてくれたこと、それは次の世代のリーダーを今の青少年の中から育成すれば必ずや日本は今までも増して、世界の平和の実現に貢献することが出来る日本になれることを信じて止みません。

本日は本当に有難うございました。

感謝状及び記念事業

1. 感謝状

- ・ 創立会員 伊藤 俊三君 大塩 直文君
郡司 昌佳君
- ・ 歴代会長
 - 36代 大原 栄君
 - 37代 磯ヶ谷正徳君
 - 38代 氷見 定明君
 - 39代 澤田 次男君
 - 40代 渡邊 渉君

2. 記念事業

- ・ ローターリー財団に特別寄付
- ・ 米山記念奨学会に特別寄付
- ・ 災害支援金として（郡山安積ロータリークラブへ）
- ・ 那須塩原市に特別寄付
- ・ 児童養護施設 養徳園へ 奨学基金の贈呈
- ・ 児童養護施設 氏家養護園へ 災害復興支援金の贈呈
（国際ロータリー第2550地区災害復興支援金の活用）
- ・ 子ども虐待防止オレンジリボンのモニュメント建立

謝 辞

40周年記念式典感謝状

受賞者代表 大 原 栄



受賞者を代表して一言お礼を申し上げます。

創立40周年記念式典に際し、創立会員並び第36代から40代会長に身に余る感謝状を賜り誠にありがとうございました。これもひとえに会員各位のご指導とご協力の賜物と深く感謝申し上げます次第です。

私が36代会長時、創立35周年式典を挙げてきたこと、また姉妹・友好クラブの皆様、そして会員の皆様との出会いは心に残る一生の思い出となります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝をご祈念申し上げます謝辞といたします。

祝 辞

国際ロータリークラブ3750地区
韓国東水原ロータリークラブ
会長 宋 洙 吉



尊敬し、愛する国際ロータリー2550地区、西那須野ロータリークラブ会長をはじめとする会員及びご家族の皆様、こんばんは。

本日、西那須野ロータリークラブがめでたく創立40周年を迎え、皆様と共に盛大な記念式を迎えられることができたことを嬉しく思い、お祝い申し上げます。同じくこのようなおめでたい記念行事に招待して頂き、国際ロータリー3750地区東水原ロータリークラブを代表致しまして、敬意を表し心から深く感謝を申し上げます。

今回の東日本大震災は有史以来、最も大きい災殃であると言われていますが、ソロモンの知恵により復旧と復興の道が開けることと信じております。

西那須野ロータリークラブと東水原ロータリークラブは、1984年12月から姉妹クラブとして関係を結んでから、27年という年月の中にいます。大韓民国には、10年の月日が経つと、山河が変わるといふ諺があります。(それほど27年というの長い年月です。)韓国と日本は近くて遠い国ではなく、真の隣人のように国際奉仕及び友好関係を共に発展させていけば、より一層成熟して友情を構築することができると思います。

40年の伝統と千年の未来に輝く国際ロータリー2550地区西那須野ロータリークラブ創立40周年の記念式に臨席することができ、喜びが胸に溢れています。

喜びが胸に溢れ、熱情を感じるのは、今日、この席でカルヤン・バネルジーRI会長のテーマである「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」をこのうえない喜びの中で共に実践して、双方のクラブが親睦を図ることができるからであります。

千年の未来に輝く西那須野ロータリークラブの会員の皆様、これからも27年の友誼を確かめ、クラブのさらなるご発展と会員及びご家族の皆様の未来に幸福が満ちることをお祈りします。



祝 辞

国際ロータリークラブ3500地区
台湾桃園ロータリークラブ
会長 陳 昌



私は本日桃園扶輪社の代表といたしまして貴社の創立40周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。また、式典の成功をお祈りいたします。

貴R.Cは1971年10月6日に創立し、1985年10月11日この両社の姉妹社関係を締結して以来、すでに26年を過ぎました。この間に、両社の間に親睦交流、相互訪問、親善友情を深めました。今後、きっと引き続き扶輪の基本理念に基づいて、いっそう扶輪精神を続けて発揚し、両社の貴重な厚い姉妹社情誼を深めるよう努力します。

そして、貴社の招待に感謝いたします。桃園扶輪社は11月6日に創立50周年記念式典のために、今回は多くの桃園扶輪社の皆さんが貴社の式典の参加ができませんでした。私は謹んで桃園扶輪社の代表といたしまして、貴社の皆様及びご家族の方が11月6日に本社の50周年記念式典に積極的にご参加できるように再度誠実な招待をいたします。

最後に、貴社のご発展、皆様とご家族の方のますますのご健勝を祈念して、私からのご挨拶にさせていただきます。



祝 辞

新座ロータリークラブ

会長 金子 幸 男



本日は西那須野ロータリークラブ創立40周年を迎えられ記念式典が盛大に迎えられることを心よりお祝い申し上げます。

この40年という立派な歴史は、会員の皆様方のロータリーに対する情熱と豊かな人間性を自己研鑽、地域社会、国際社会への奉仕に注がれてきた弛まめ努力の結晶だと

思います。本日は誠におめでとうございます。

思えば1995年度、私たち新座ロータリークラブは、他クラブとの親睦と友好の和を深めるため友好クラブを模索しておりました。

そこで新座市と当時の西那須野町（現在 那須塩原市）が「野火止用水・那須疏水の疏水サミット」や「少年少女合唱団」の交流に始まり「災害時相互応援協定」等でより深い交流がございました。

それにあやかりラブコールをおくり1995年4月にクラブ締結の打ち合わせに貴クラブを訪問いたしました。

そして1996年10月26日ホテルニュー塩原に於いて、西那須野ロータリークラブ25周年記念式典会場にて締結式が行われ、友情あふれる歓迎を受けたことを忘れることができません。

その後、交流を重ねながら2010年5月私どもが実施した創立35周年記念式典には、地区大会と重なったにもかかわらず3名の会員のご臨席を賜り盛大に終わることができました事に心より感謝申し上げます、この場をお借りしてお礼申し上げます。

早くも友好クラブとして16年の歳月が過ぎこの間、東日本大震災・福島原発事故という未曾有の災害がありましたが、今後とも両クラブがより一層、友好と親睦の和を深めてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、貴クラブの益々の発展と、会員並びにご家族の皆様方のご健康をお祈りしお祝いの言葉とさせていただきます。



西那須野ロータリークラブの皆様

郡山安積ロータリークラブ

会長 石塚 征夫



本日は西那須野ロータリークラブ創立40周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。郡山安積ロータリークラブを代表致しまして、心よりお祝い申し上げます。

さて、貴クラブと当クラブとの交流は、貴クラブ パスト会長佐藤正一氏、パスト幹事大谷 豊様、当クラブ 16代会長挽野喜孝、幹事石塚征夫との間で友好クラブの締結を取り交わして以来、10年にわたり交流を深めさせて頂いております。

現在の社会状況と致しましては、3月11日の東日本大震災及び原発事故により大きく揺らいでおりますが、双方のクラブとも手を取り合い心の支えとなり、地域社会のリーダーとして、より一層の発展を期待致しまして、簡単ではございますがお祝いの言葉と致します。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



祝 辞

茂原中央ロータリークラブ

会長 志田野舞(延子)



西那須野ロータリークラブ創立40周年記念式典、心よりお喜び申し上げます。私ども茂原中央ロータリークラブでは、2007～2008年度に創立15周年を迎え式典の席上において、貴クラブと友好クラブ締結を致し今日に至っております。当時の磯ヶ谷会長をはじめ18名のロータリアンが出席くださり、花を添えてくださいました。心より御礼申し上げます。友好クラブとしての締結は4年ほどですが、私どもの中村勇会員と貴クラブの渡辺渉会員との交流は14年にも及んでおります。これからも友好と親睦の和を深めていただくことをお願いし、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

国際ロータリークラブ第2550地区

ガバナー 比 企 達 男



片柳会長様始め、西那須野ロータリークラブの皆様、
本日は創立40周年記念誠におめでとうございます。一口
に40年と申しますが、創立の頃生まれた子が、不惑を向
え、又、当時部分開通だった東北自動車道が、現在のよ
うになったのですから、クラブの歴史の重みを感じます。

その間、地区委員を大勢送り出され、内外のクラブと姉妹クラブを結ばれ、親睦に奉仕に、
心を合わせて、しかも心から楽しんで活動して来られ、西那須野ロータリークラブ独特のカ
ラーを熟成されたことは、地区の模範と申せましょう。

池面チームの御尽力、かくも立派な記念事業を成功されましたが、次の50周年に向けて、
さらに活発なクラブ運営をされて、県北の、又地区のリーダーとして益々御活躍下さいます
よう御祈念申し上げます。

以上、御祝辞とさせていただきます。



祝 辞

みんなの党代表

衆議院議員 渡 辺 喜 美



西那須野ロータリークラブ創立40周年を迎えられますことを、心よりお喜び申し上げます。

1971年11月西那須野・塩原の会員により設立以来、今日までロータリーの友愛と奉仕の理念のもと、社会貢献活動を通して当地域に限らず、広く多くの実績を挙げられておりますことに、心より敬意を表します。

一昨年私が自民党を離党した折には、皆様方から激励の励ましを頂き、私に前に突き進む勇気を与えていただきました。改めて心より厚く感謝申し上げます。

お陰様で、「みんなの党」は結党2年を迎えました。その間2回の国政選挙、統一地方選挙を経て、国会議員16名、地方議員を含めると300名を超える議員を有し、各社世論調査では常に民主、自民に次ぐ第3党の支持をいただくまでになりました。

現在、3月11日に発生した東日本大震災の復興が遅れに遅れており、福島第一原発事故による放射性物質の飛散、外交の停滞、急激な円高など、国内外において多くの課題をかかえております。このような国難とも言える我が国にあって、政治に求められる事は、「誰がやるか」ではなく「何をやるか」が重要なのであります。

「みんなの党」は「アジェンダ」の党であります。覚悟を持ってこの難局に取り組むことをお約束いたします。

結びに、西那須野ロータリークラブが創立40周年を機に、当地域の輝かしい未来のため、より一層のご活躍をご期待申し上げますと共に、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



祝 辞

那須塩原市長 栗 川 仁



西那須野ロータリークラブの皆様、クラブ創立40周年誠におめでとうございます。那須塩原市を代表しご祝辞を申し上げます。

西那須野ロータリークラブは、1971年に日本で1084番目、栃木県内では24番目に創立されたとお聞きしております。

皆様には長年にわたり、奉仕活動を通じて自己研鑽に努めつつ、地域に密着した福祉活動や文化活動をはじめ国際交流など、市政各般にわたり物心両面でのご支援を賜り深く感謝申し上げます。

昨年、本市の合併5周年記念式典のオープニングを飾って頂いた「那須野が原少年少女合唱団」は、30年以上も前に皆様方の「青少年育成のための、奉仕活動の一環として、合唱団を育てよう」と言うお話から誕生したとお伺いし、改めてその先見性に敬意を表すものであります。

ひとくちに40年と申しましても、社会情勢、経済情勢が変革する中、今日に至るまでの道のりは、決して平坦なものばかりではなかったことと拝察いたします。

ロータリー活動に日々ご努力された歴代の会長様をはじめ会員の皆様、更には、ご家族の皆様にも心より敬意を表したいと存じます。

さて今年、先の東日本大震災とその後発生した原発事故の影響により、社会全体が大きな不安の中での生活を余儀なくされております。

この災害に際しても、西那須野ロータリークラブ様には、義援金、物資等のご支援を頂き重ねて感謝を申し上げます。

これまで社会は、少子高齢化と核家族化が進み、個人の生活様式や価値観の多様化などにより、人と人とのコミュニケーションが希薄になっていると言われてきました。

しかし、震災後には、家族や地域との関わり大切さが改めて見直されるなど、社会のあり方も徐々に変わってきたとも言われております。

ロータリークラブは、アメリカのシカゴという大都会の中で、孤独と疎外感に悩む青年弁護士が、1905年に3人の仲間とともに「実業人が友愛の気持ちを持って親しみあい、仕事のうでの知り合いの輪を広げていくために、定期的に集まる会をつくる」というアイデアから生まれたとお聞きいたしました。

こうしたロータリー発祥の理念と活動は、現代の社会においても、多くの人々が求めている願いでもあります。

今後とも、西那須野ロータリークラブ様が、更なるすばらしい歴史を重ねられますこと、併せて、会員の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、祝辞といたします。

創立40周年、誠におめでとうございます。



お礼の言葉

養徳園 園長 福田 雅章



西那須野ロータリークラブの創立40周年を心よりお祝い申し上げます。

養徳園は、さくら市に二つの児童養護施設を運営し、親から虐待を受けているなど家庭環境に恵まれない、2歳から18歳までの子ども約110名の養育に携わっています。西那須野ロータリークラブからは、バーベキューの開催、那須どうぶつ王国への招待、フィリピン・ナボダスキャンプ参加への援助などのご支援を受け、子ども達の健やかな成長を温かく見守っていただいております。

さらに、このたびは大学進学への助成として多額のご寄付を頂戴し、言葉では言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。養徳園では、子ども達の将来が育ってきた環境によって左右される社会であってはならないと、高校卒業後の進学を奨励しているのですが、資金の問題が大きな悩みでした。ロータリークラブのご支援は、私どもにとって心強い限りですし、子ども達にとっては将来の夢が大きく広がることであり、何よりの励みです。

那須塩原市における昨年度の児童虐待の相談件数は88件と、栃木県では宇都宮市に次ぐ多さとなっており、地域が関心をもって取り組まなければならない課題となっています。

児童養護施設は県内に10か所ありますが、養徳園が最北の施設で、那須地域には同様の施設はありません。そのため、近い施設として那須地域の子どもが多数入所しています。こうしたことから、ご支援を受けることができているのだと思いますが、西那須野ロータリークラブの高い見識には敬意を表すところです。

これからも子ども達が夢をもって生活できるよう私どもに力をお貸しくださるようお願い申し上げますとともに、西那須野ロータリークラブの益々のご繁栄、そして会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げましてお礼の言葉とさせていただきます。



2006～2011年のあゆみ



2006・2007 R.I.テーマ



2009・2010 R.I.テーマ



2007・2008 R.I.テーマ



2010・2011 R.I.テーマ



2008・2009 R.I.テーマ



2011・2012 R.I.テーマ

◇ ガバナー公式訪問 ◇



○ 2007～2008年度 国際ロータリー第2550地区 第1グループ
近藤 隆亮ガバナー公式訪問
 西那須野ロータリークラブ

平成19年10月9日(火) 磯ヶ谷正徳年度 幹事：星野 仁 会員数：51名



○ 2008～2009年度 国際ロータリー第2550地区 第1グループ
羽石 光臣ガバナー公式訪問
 西那須野ロータリークラブ

平成20年10月7日(火) 氷見 定明年度 幹事：中里 幸男 会員数：48名



○ 2009～2010年度 国際ロータリー第2550地区 第1グループ
森 玄房ガバナー公式訪問
 西那須野ロータリークラブ
 平成21年9月15日（火）澤田 次男年度 幹事・郡司 吉一 会員数・43名



○ 2010～2011年度 国際ロータリー第2550地区 第1グループ
瀬下龍夫ガバナー公式訪問
 西那須野ロータリークラブ
 平成22年8月10日（火）渡邊 渉年度 幹事・榎本 建司 会員数：43名



○ 2011～2012年度 国際ロータリー第2550地区 第1グループ
比企達男ガバナー公式訪問
 西那須野ロータリークラブ 塩原ロータリークラブ
 平成23年10月25日（火）片柳 洋年度 幹事 角橋 徹 会員数・39名



地区大会参加



友好クラブ訪問（郡山安積ロータリークラブ）



那須どうぶつ王国への招待（養徳園）



アジア学院収穫祭参加



第一グループゴルフ大会



家族新年会



那須野ヶ原剣道大会



職場見学例会

歴代クラブ会長テーマ並びに方針 (第37代～41代)

2007～08年度



「進んで奉仕 真心の親睦」

西那須野ロータリークラブ
会長 磯ヶ谷 正徳

2007～2008年度の新しいロータリー年度を迎えるに当たり、会長就任のご挨拶を申し上げます。

我が西那須野ロータリークラブは鈴木基一バスターガバナーの強力なリーダーシップの下、昭和46年11月に創立されました。そして、創立以来、数々の輝かしい業績を残されてきました。これはひとえに、歴代会長、幹事、そして会員皆様の努力の賜物と感謝申し上げます。

その歴史と伝統ある西那須野ロータリークラブの第37代会長に就任し、大変光栄に感じると同時に、その責務の重さに身の引き締まる思いでございます。甚だ微力ではございますが、諸先輩方が築かれた伝統を守り、更なる前進に向け、努力してまいります。会員皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

本年度の国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン氏は

「ROTARY SHARES = ロータリーは分かちあいの心」

というテーマを掲げました。RI会長は、このテーマを選ぶに当たり、「ロータリアンというのは、実に豊かな多様性に満ちた人々の集りで、信仰も政治的見解も哲学的な信念も異にしている、唯一、120万人の会員の間で共通する1本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かちあい」という名の精神でできた糸です。ロータリアンは自らの時間や才能、専門知識、資金を分かちあい、また、思いやりと熱意、恵まれない人々を助けより良い世界を築こうという決意、さらには、ロータリーを世界第一級の奉仕団体へと発展させた比類なき奉仕への情熱を分かちあっているのです。このテーマがすべてのロータリアンの誇りの原点となり、また、私たちの活動の原動力となってくれることを願います。」と述べられています。

さらに、RI会長は、本年度の強調事項を、昨年度に引き続き「水保全」、「保健及び飢餓救済」、「識字率向上」、「ロータリー家族」と定め、また、ロータリー財団目標を「ポリオ撲滅への努力継続」、「財団プログラムへの参加」、「財団学友の活動拡大」、「世界平和と親善プログラムの推進」と定められました。そして、「これらの夢を実現させるために、ロータリアン一人一人が、自分の出来ることに最善を尽くしてほしい。」と訴えておられます。

近藤隆亮ガバナーは、RI会長の方針を踏襲し、「クラブ会長各位が『分かちあいの心』を以って各クラブの目標の実現を目指していただきたく、また、会員個人々人として率先してのロータリー活動を期待いたします。」と述べられました。

ウィルフリッド J. ウィルキンソンRI会長のテーマ及び方針、並びに近藤ガバナーの方針をふまえ、私は今年度のテーマを「進んで奉仕 真心の親睦」とさせていただきます。ロータリアンの責務である職業奉仕の理念に基づき、会員各自が自分の職業の水準を向上させ、社会のニーズに応えることによって正当な利益を受けること、それがひいては社会に貢献することになる。この「奉仕の理想」を実践する機会を求めていくことを奨励したいと思います。また、会員間のみでなく、会員の家族も含めた親睦活動を通し、会員及び家族相互の友情と理解を深め、より強固な組織作りをしていきたいと考えます。

本年度の会長方針

1. 会員の増強と退会防止
2. ロータリー家族への親睦活動
3. 姉妹・友好クラブとの交流
4. 奉仕活動の実践
5. ロータリー財団及び米山記念奨学会の地区目標の達成
6. CLPの理解を深める

「進んで奉仕 真心の親睦」を念頭に今年一年精一杯頑張りますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

国際ロータリー会長



ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

2007～2008年度

「ロータリーは
分かちあいの心」

ガバナー



近藤 隆亮

ガバナー補佐



加藤 利勝

2008～09年度



「活性化は奉仕と親睦から」

西那須野ロータリークラブ
会長 氷見 定明

2008-2009年度の新しいロータリー年度を迎えるに当たり、会長就任のご挨拶を申し上げます。

西那須野ロータリークラブは、初代会長の鈴木基一バスターガバナーの大変なご苦勞の末、昭和46年11月に創立いたしました。以来RI会長「特別世界理解平和賞」、RI「意義ある業績賞」4回はじめ、歴代の会長・幹事・会員の方々が奉仕の伝統を守り、表彰の記録は枚挙にいとまがありません。その様な伝統と栄光あふれる、西那須野ロータリークラブ2008-2009年第38代会長に就任し大変光榮に感じると同時に身の引き締まる思いでございます。

今年度の国際ロータリー李東建会長は、

「Make Dreams Real 夢をかたちに」

というテーマを掲げ、「素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから2008-2009年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに、地域社会の最も大切な資源である『子供たち』に光を当てていただきたい。

この思いから、2008-2009年度のRIテーマを「夢をかたちに」としました。

食糧と水、保健と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること・・・

これは（今現在）多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。このような子供たちと家族のために、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くという、ロータリーの夢に向かって、私と共に歩み活動してください。」と述べられています。

さらにRI会長は、同じ奉仕の強調事項を引き継いで掲げ、毎年、『保健と飢餓追放』『水』『識字率向上』と定め、またロータリー財団目標を、「ポリオの撲滅」「毎年あなたも100ドルを」「ロータリーの公共イメージを高める」「財団の未来の夢計画の支援」と定められました。そして、「これらの夢をかたちにするために、ロータリアン一人一人が、自分のできることに、最善を尽くしてほしい」と訴えておられます。

羽石ガバナーは、国際協議会に於いて、2008-2009年度RIのテーマに込めるRI会長の信条と、RIの進むべき方向を充分理解され、「主体性を持ったクラブ」の活性化のために「入りて学び、出でて奉仕」の心で共に行動をして参りましょう。と述べられました。

李東建RI会長のテーマ及び方針、並びに羽石ガバナーの方針をふまえ、私は、年度のテーマを「活性化は 奉仕と 親睦から」とさせていただきます。

ロータリアンの基本理念は職業奉仕にあることは、皆様誰もが周知の事で、各自が職業の水準を向上させ、奉仕を通して、夢をかたちにいたしましょう。

また、会員間のみでなく、会員の家族、及び地域社会を含めた親睦活動を通し、相互の友情と理解を深め、共に参加し活性力のあるクラブ作りをしていきたいと考えます。

本年度の会長方針

1. 会員の増強と会員維持（退会防止）
2. ロータリー財団及び米山記念奨学会の地区目標の達成
3. 姉妹・友好クラブとの交流
4. 各奉仕活動の実践
5. ロータリー家族への親睦活動
6. 職業分類：未充填部分の見直し

「活性化は 奉仕と 親睦から」を念頭に、この一年精一杯頑張りますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

国際ロータリー会長



李 東 建

2008～2009年度

「夢をかたちに」

ガバナー



羽石 光臣

ガバナー補佐



塩川 美好



「地域に密着・地域と共に奉仕」

西那須野ロータリークラブ
会長 澤田次男

2009～2010年度の新しいロータリー年度を迎えるに当たり、会長就任のご挨拶を申し上げます。

我が西那須野ロータリークラブは初代会長の鈴木基一バスターガバナーの強力な指導のもと、昭和46年11月に創立され数多くの業績を残されてきました。

これはひとえに、歴代会長、幹事、そして会員皆様方の努力の賜物と感謝申し上げます。

その歴史と伝統ある西那須野ロータリークラブの第39代会長に就任し、大変光栄に感じると共に、その責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

本年度の国際ロータリー会長 ジョン・ケニー氏は、

「The future of Rotary is in your hands」

「ロータリーの未来は あなたの手の中に」

と言うテーマを掲げその理由を、

RI会長は、ニュートンの言葉を引用し『私が（ほかの人より）遠くを見ることが出来たとするならば、それは私が巨人たちの肩の上に立っているからにはほかならない』。幾世代ものロータリアンの肩の上に立っている私たちは、ロータリーの未来を決定する責務があり、ロータリーの未来はエバンストンにあるRI本部で形づくられるのではなく、個々のロータリークラブによって形成されるものです。強いロータリーを守り抜くために行うことが、ロータリアンとして、私たち一人ひとりのためになります。みんなのためにロータリーの針路を決めるのは、私たち自身の日頃の行動であり決定です』と述べられております。

さらにRI会長は、『先人が私たちのために敷いてくれたレールに沿って、この素晴らしいロータリーをより強き組織へと導き、平和に満ちて健全な、よりよき世界を築いていく上で、皆さんからご支援いただけるものと期待を裏切るはずがないと私は信じます。皆さんの助けが必要です。』

この組織をこよなく愛する皆さんが、期待を裏切るはずがないと私は信じます。ロータリーの未来は、皆さん次第です』と訴えておられます。

森 玄房（もり はるふさ）ガバナーは、「徳 孤ならず 必ず隣あり」と例え、『むずかしい時代だからこそ、自分の職業を大切に、Change of Idea 自分たちの輪を強くし、お互いの心を磨き合い、そして楽しみ学びましょう。そして、今 なぜ私たちはロータリアンなのか。今一度考えましょう。ロータリーでは、すべてがクラブに始まり、クラブで終わります。クラブ会員として行動を起こしましょう』と述べられました。

ジョン・ケニーRI会長のテーマ及び方針、並びに森ガバナーの方針をふまえ、私は今年度のテーマを「地域に密着・地域と共に奉仕」とさせていただきます。

私たちは地域社会に存在する職業人の集まりであり、色々な職業の頭脳が集まり、発想の交換を活発に行い、地域と共に活動したいと思います。

活動方法としては、

- ★身の丈に合った奉仕活動
- ★夢と愛と希望に溢れる活動
- ★楽しく奉仕 自らの活動 です。

本年度の会長方針

1. 会員の増強（仲間を増やそう）
2. 全会員が年1回卓話の実施（雑感等も含めて）
3. 奉仕活動の実施
4. 親睦活動の実施
5. ロータリー財団及び米山奨学会の地区目標の達成

「地域に密着・地域と共に奉仕」を念頭に今年一年精一杯頑張りますので、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。

国際ロータリー会長



ジョン・ケニー

2009～2010年度

「ロータリーの未来は
あなたの手の中に」

ガバナー



森 玄房

ガバナー補佐



奈良 靖久



「心と心をつなごう ロータリーの輪で」

西那須野ロータリークラブ

会長 渡 邊 渉

新しいロータリー年度・2010～2011年度を迎えるに当たり、会長就任の挨拶を申し上げます。

我が西那須野ロータリークラブは昭和46年11月に創立され、以来多くの実績を残す伝統あるクラブであります。それは言うまでもなく、歴代会長・幹事はじめ、会員各位の努力の賜と感謝すると共に、西那須野ロータリークラブの40代目の会長に就任するにあたり、その名に恥じないクラブ運営、活動をすすめていく所存です。会員各位のご協力をお願い申し上げます。

本年度の レイ・クリンギンスミス国際ロータリー会長は

「地域を育み、大陸をつなぐ」

を今年度のRIテーマに選びました。

強調事項は下記の通りです。

1. ポリオ撲滅
2. 青少年交換学生
3. 平和と紛争予防/紛争解決
4. 疾病予防と治療
5. 水と衛生設備
6. 母子の健康
7. 基本的教育と識字率向上
8. 経済と地域社会の発展

また、第2550地区 瀬下龍夫ガバナーは

・すべてのクラブが四大奉仕に注力し、RI会長賞に応募する。・特に職業奉仕に力を入れる。・クラブの活性化を図り、会員維持に努める。・未来のために、米山記念奨学会に、18,000円寄付いたしましょう。・みんなのために、ロータリー財団には、US130\$寄付いたしましょう。・長期計画を立てる。

以上がガバナー方針であります。

私はレイ・クリンギンスミス国際ロータリーと、瀬下龍夫ガバナーの方針、目標を理解し、西那須野ロータリークラブの今年度のテーマを「心と心をつなごう ロータリーの輪で」とさせていただきました。

我々ロータリアンは職業奉仕が責務であります。各会員が職業奉仕の理念を強くもち、資質の向上に努めることが、社会を、地域を、そして家族を幸せにすることが出来ると信じております。

そうです。地域はもとより、会員相互の親睦、会員の家族も巻き込み、互いに親交、親睦を深めることにより、我がロータリークラブに活性化を図ることが奉仕の理想に近づく一歩なのです。

本年度の会長方針

1. 会員を退会させない楽しい例会にすること。
2. 周年事業の強化。(次年度は西那須野RC40周年の節目の年です)
3. 四大奉仕の確認・実行。(ふれあい祭り、養徳園、米山奨学生の受入れ会員・家族親睦 等々)
4. 姉妹・友好クラブとの交流(本年度、桃園ロータリークラブとの締結25周年にあたります)
5. 米山奨学会、ロータリー財団の地区目標の達成。

以上の目標に向かって本年度一年間を「心と心をつなごう ロータリーの輪で」をテーマに邁進する覚悟であります。会員皆様方の絶大なるご協力のほどを、よろしくお願い致します。

国際ロータリー会長



レイ・クリンギンスミス

2010～2011年度

「地域を育み、
大陸をつなぐ」

ガバナー



瀬下 龍夫

ガバナー補佐



小野田 裕



「談論風発」
「予感を確信に、確信を現実に」

西那須野ロータリークラブ
会長 片柳 洋

はじめに

当年度会長職を拝命するにあたり、次の通り当年度会長テーマそして方針の説明及び方針実施に際して、会員の皆さん並びに関係各位へ理解と協力をお願いを申し述べさせていただきます。

私たち西那須野クラブは40年の歴史とすばらしい多くの先輩たちに支えられてきてはおりますが、若い会員も多く、また会長である私自身が経験不足・知識不足であり、非常に非力・未熟な面も併せ持つクラブでもあります。そこでお願いがあります。ガバナー、バスターガバナー各位、ガバナー補佐、バスターガバナー補佐各位そして多くの諸先輩、友人ロータリアンの皆様、ロータリーの友情のもと私たち西那須野クラブの本プログラム実現へ向け、具体的かつ適切なご指導・ご助言を賜りますようよろしくお願いいたします。

会長テーマ

「談論風発」－予感を確信に、確信を現実に－

今私が思っていること、思ったことまたみなに伝えたいこと、これらのすべてを言葉に託し、勇気を持って発言し、ロータリーの奉仕の実現に貢献しよう。

これが当年度の会長テーマです。このテーマにおいて私は、会員に二つの意味を提起しています。ロータリーの主体が単位クラブであるように、クラブ活動の主体は会員です。ですから自分が会長であったらどうしたいのか、やりたいテーマをどう仲間に提起するのか、仲間の意見をいかに傾聴するのか、そしてその意見を聞き、どう問題を再提起するのか、結果を実現するために実践行動するという、つまり形ある結果＝奉仕の実現に到達させるため、どう合意形成の最終提案を行っていったらよいのかを会員一人ひとりが意識し、元気と勇気をもって発言してほしいと思っているからです。私はこのことがクラブ活動の源泉であると思っています。

二つ目は、会長職にある片柳自身が、自分自身の戒め、つまり独善・独りよがり・無謀な独走を厳に戒めたい、だから会員一人ひとりに会長が会務を運営するに当たり、限度を超えての不適切発言並びに不適切な決裁、またそれらに基づく見切り発車の指示があったときは、クラブ活動主体者である会員の責務と権利の行使として、率直にロータリーの友情をもって会長職にあるこの私に指摘・発言して欲しいのです。会長が「裸の王様」になることは、本人の不幸・哀れという次元の話にとどまるのではなく、社会的責任ある組織体であるロータリークラブの名誉と地域社会への責任に対する背信行為ともなりかねないのではないかと思います。私はそれらのことを常に念頭に置き会長職を務めることが、会員へのまた地域社会への責務であると心してゆかねばならないと思っています。

1 当クラブの現状認識

現クラブ会員数 39名

1988-1989 クラブ会員数77名

13年間の会員減少数38名

13年間で当クラブ会員数は50%になりました。会員数の半減は極めて由々しきことであり、問題点の所在がどこにあるのかを直視することは、いずれの者が会長職にあらうとも必要なことであると言わざるをえません。

2 会員拡大のための活動計画

当クラブが所在地域（那須塩原市内）において、地域住民・地域社会から「西那須野ロータリークラブは特筆に価する高品質な社会奉仕団体であり、かつ名誉ある職業人組織である」との評価を得ることのできる求心力ある組織へと自らの創意工夫と適切な奉仕活動の実行実践により、当クラブ組織を再構築することが急務であると思っております。

3 組織再構築のための3つのキーワード

当クラブの現状を改革し、結果、会員拡大という成果に導くヒントが当年度RI会長カルヤン・パネルジー氏の「テーマ」、そして「3つの強調事項」にあります。当職の理解と解釈に基づくものでありますが、私はこれを次の通り提起するものであります。

テーマ・・・自分に正直に、そして仲間と誠実に＝談論風発の実践

3つの強調事項

- ①家族 ことをなすための長期戦には、頼りになる後方支援と強力な前線基地が不可欠。会員は家族を大切に。
- ②継続 本物は時間が創る。時代のニーズに合致する本物は時間の継続のその先にあると信じ、高次元へと目的実現のための行動を続ける。
- ③変化 継続実現の先の勇気ある展開こそ、今そしてこれからの奉仕ニーズに出会う道であるということ。そしてこのことを確信せよと。

4 上記3キーワードを踏まえての奉仕実践プログラム

会員拡大実現の具体的奉仕プログラム作成上の指針は、比企ガバナーの地区目標にあります。当クラブはガバナーが提起する10の地区目標の中から、以下の3項目を重要事項といたしました。

- ①米山記念奨学会の重視
- ②新世代青少年支援育成の強化
- ③新クラブの設立

5 具体的プログラムの策定並びに実施上最も重要なこと

プログラムは担当委員会が主体となり、策定・実施する。会員一人ひとり全員はロータリーの友情をもって誠心誠意担当委員会に協力するものとする。

当年度会長方針策定を振り返って

会長職を拝命はしたけれど、クラブ活動方針策定は正直私片柳は不適切かつ資質能力において無理であると思っていました。在籍年数30年にならんとするのに、ロータリアンとしての基礎知識や、会員としての誠実な責務の履行特に例会出席率、『ロータリーの友』の熟読、定款細則の理解等はお粗末な限りであり、真面目にロータリークラブ会員としての責務を履行している人たちに申し訳ないと思う気持ちと、失礼であると思う気持ちがいっも頭の中で交錯し、モヤモヤとした気分が晴れない日々が続いていました。そんな私でしたが、2011年5月15日(日)、作新学院大学での「ロータリー指導者のための地区協議会研修会」に参加した中で、二つの気づきを得ました。

二つの気づき

一つはRI会長カルヤン・バネルジー氏のテーマ実践のための優先順位の置き方に学んだことであります。会長はまず始めに自分そして自分の家族といっています。自分と自分の家族の満足と納得がまず最優先と言い切っているのです。日本人社会ではとすれば利己主義、エゴイスト、偽善者etcと言われかねません。

二つ目は「変化」です。バネルジー氏は「改善」と言っていますが、必要であれば変えるべきだと、勇気を持って変えなさいと言っている。このことも日本社会ではどちらかという嫌がられる部類のものといわざるを得ません。何事も荒立てずすべては穏便に。

私はこの研修に参加して、ロータリーで奉仕活動を行うということ、奉仕の理想とは何かということ、入会30年にして初めて真剣に具体的に考える機会を得ました。そして具体的に何をやったらいいのかということに明快な光を当ててくれるのが比企ガバナーの10項目の地区目標です。とても具体的でわかりやすく、私はこれらを念頭に置けば、そして当クラブの歴史と現状を精査すれば、何をなすべきなのか、どうやっていったらいいのかが見えてくる、そんな予感が研修を受講している際に浮かんだのであります。

私はロータリークラブの会長が担当する職務のうち、今最も重要であろうと思う「1年間のクラブ活動方針の策定」作業を、今、終了せんとしております。当年度のクラブ活動方針が「画餅に帰す」ことなきよう、会長職を務める片柳は、クラブ会員一人ひとりと、心して談論風発に努めます。そして着実に、誠実に奉仕プログラムを実践実行してゆきたいと思っております。従来よりの会務報告書、会長方針と比したとき、長文かつ私的冗舌に渡っていますことを心からお詫び申し上げ、併せて各位の理解と支援協力をいただけますことを重ねてお願いいたします。

国際ロータリー会長



カルヤン・バネルジー

2011～2012年度

「こころの中を見つめよう、
博愛を広げるために」

ガバナー



比企 達男

ガバナー補佐



月江 寛智

■ 特集

「通算記念例会」及び「鈴木基一PGを偲んで」卓話

通算1,800回例会を振り返って



創立会員 伊藤 俊三

第1800回号（2008. 9. 30）週報記事

今日は、通算1,800回という長いクラブの歴史を物語る有意義な例会でございます。

このような例会を任期中に迎えられた氷見会長さん。就任のご挨拶の中に、伝統と栄光にあふれる西那須野クラブ第38代会長に就任し栄光と責任の重大さを感じると同時に身の引き締まる思いであると述べられておりました。会長としての強い決意の程が伺われます。

現在、創立会員は4名おりますが、郡司・小瀧両会員は出席免除者で、例会出席は、大塩会員と私2人となりましたが、38年の長い間曲がりなりにもクラブを通して奉仕活動に参加して参りました。

私、この度卓話を指名されましたが、クラブ最高齢者で大分ボケが進行している私にとっては至難の卓話でございます。しかし、卓話もボケ防止の妙薬になるものと考えまして、まともな話は出来ませんが、皆さんの敬老心に甘えながら、老骨に鞭打ちまして勤めさせていただきます。

さて、故鈴木PGがクラブ設立に活動を始めたのはクラブ誕生の2年ばかり前のことだったと思います。

その当時ロータリーの存在は勿論、ロータリーのロの字も知らなかった私、PGの執拗なまでの熱心な勧誘に負けまして入会致しました。

アメリカ生まれのロータリー。他の団体には考えられないロータリー特有の規約や習慣、用語、訳語等が結構出てまいります。開会前のロータリーソング、君が代斉唱は最初は照れくさく、少々抵抗を感じておりましたが、みんなの歌声は会員の心をひとつに盛り上げてくれる雰囲気を作って参りました。

ロータリーについては、右も左もわからない我々、創立会員の教育はスポンサークラブ（大田原クラブ）の役員の方々と地区役員の方々が担当で指導されましたが、最初は定款細則やロータリーの道徳律などの細かい話は除き、ロータリアンとしての基礎的な習慣や心構えなどの話でございました。

現在、クラブの新人教育は情報委員会で担当しておりますが、私ども創立会員は全員が新人でございますので、その教育指導の過程には色々な事があったことと思います。

去る25日には今年度の新人教育が行われましたが、現在の会員さんは、その都度、新情報を元に教育を受けて来られました。

ロータリーは日進月歩、前進しておりますが、38年前の教育と現在の新人教育との違いを知るのも決して無駄ではないと思いますので、これから私ども創立会員が受けた38年前の教育を述べてみますので参考にして頂きたいと思います。ただし、その違いの善悪は個人の判断にお任せいたします。

それでは、38年前の教育を項目ごとに並べてみます。

- *ロータリークラブは社交クラブでも寄付団体でもない、職業奉仕団体である。
- *会員は男性で一業種一人が原則
(どんな立派な人でも同業の会員がいる限り入会は出来ない。)
- *役員の任期は一年が望ましい。
- *政治に携わる会員は、クラブ内での政治活動は禁止。
- *例会の出席を他の団体の欠席理由にしてはならない。
- *時間は厳守(特に例会の時間、卓話の持ち時間)
- *ロータリーには、「NO」という言葉はない。
- *何事も常に相手の身になって行動する。

この様なことを安易な言葉で指導されておりました。

当クラブを、ここまで発展し続けられた要因は、故鈴木PGが、クラブの基礎を十分に固められた事、また、その後のクラブ育成には「ロータリーキチ」と言われるまでのPGの情熱の結果であると私は思っております。

国際ロータリーと言えばポールハリス、日本のロータリーと言えば米山梅吉、西那須野ロータリーと言えば鈴木基一と、私は鈴木PGを位置付けております。

しかし、どんな努力をされても、ただ一人の力では、ロータリーの新クラブの結成などは、出来るものではありません。

立派な当クラブが誕生できた裏には、PGのクラブ結成への熱意に絆され、ロータリーの趣旨に賛同された地元有力者の献身的な協力、地区では当時の瀧沢信二ガバナーの絶大なるご指導があった事を見逃す事は出来ません。

ここで真剣に協力された地元有力者の方々のお名前を申し上げますと、塩川兵三郎様(64)、伊藤甲太郎様(68)、福本治夫様(43)、草野栄龍様(53)、藤森武雄様(57)、宮沢勝様(57)、鈴木伊勢松様(52)の方々でございます。

皆様ともに創立会員でございますが、既に故人となられておりますので、最後に鈴木PGと共に皆様のご冥福をお祈り申し上げまして卓話とさせていただきます。



鈴木基一ガバナーを囲んで(ガバナー事務所にて)

鈴木基一 P G を偲んで

第18代会長 関谷直人

第1776回号 (2008. 3. 11) 週報記事



伊藤先輩に引き続き鈴木先生を偲んでの話をさせていただきます。先生が逝去されたのは昨年11月13日でありますが、病床に伏されて例会にお見えにならなく成ったのが亀和田年度の後半からであったろうと思います。本日の卓話まで、時間的にあまり余裕が御座いませんでしたので、詳しく調べて来ませんでした。写真などから見て多分間違いのないと思います。

毎年ガバナー公式訪問の折には朝、会場の「いとう」まで出迎えの礼は欠かさず行って居られた先生でありました。平成14年7月30日亀和田年度公式訪問の集合写真にはお元気で写っていらっしゃいます。従ってこの間5年程の年月が経過した事に成りますが、ロータリーの公式の席にお顔を見せて下さったのは、平成15年4月10日の亀和田年度、地区年次大会の折、「超我の奉仕賞」の受賞で宇都宮グランドホテルに車椅子で出席されたのが最後に成って居られると思います。

その後に入会された皆さんは、(12~13名)は居られると思いますが、折りに触れ話しは耳にして居てもバストガバナーと、直に会話する機会は無かったかと思えます。それに伊藤さん曰く、「クラブ半数の皆さんは鈴木先生を知らぬのでは無いか」と言って居られますが、研ぎ澄まされた全盛ころの、お元気な先生と言う解釈からすると、或る意味ではその通りで有ろうと思えます。

鈴木基一先生は、77歳を以って自分の人生の一つの区切りとすると、常々申されて居りました。これは多分ご自分が主治医として、77歳のお父上を看取られたことに起因するのではないかと思います。一方医者としてご自分の寿命、体力、気力のある程度読んで居られたのかも知れません。

喜寿を迎える数年前から準備に取り掛かれ、学生時代より書き溜めていた自分の来し方を記した自分史「和」を発売されました。自分史と言え、過去を思い出しながら記述するのが普通で有りますが先生の「和」は青年期から書き溜めたものからの抜粋と、乞われて医学専門誌、或は、東北大学同窓会誌などに掲載されたもの、時には講師として派遣された講演内容で有ります。良くぞ書き残されたと只々感心致すばかりであります。

医学の勉強にいそむ傍ら音楽を愛し、万葉をひもとき、みそひと文字の道に於いても、その道で、名を成す同好の士と会派を共にし、沢山の素晴らしい和歌を詠んで居られますが其の中で、東北大学医学部を卒業の折、総長の臚の式辞を集約し「愛を世界に拡大せよと総長の結びし式辞まもりてゆかむ」と詠んで居られます。

基一先生は此の臚の一首の通り生涯を、世界に向けて愛の拡大に尽くされました。産婦人科医師としてご自分の生業を通し、多くの生命をこの世に誕生させると共に、地域医療に大きく貢献されました。

又、西那須野、黒羽、両ロータリークラブをつくられた事、分区代理として、分区内ロータリアンの指導に尽力された事、1983~84年には地区ガバナーとして栃木、茨城、R1第255地区3,700名余のロータリアンを指導し、以後長い間、諮問委員として多くのロータリアンの指導、育成に心血を注がれた事であります。

尚、この間ロータリーの目指す「心の種まき」として、西那須野少年少女合唱団をつくり、「人へのおもいやりと連帯感、お互いを尊重し合う人間性の醸成」に力を尽くして来られました。細かくロータリー活動を列挙すれば限りなく沢山の奉仕活動が在りますが、生涯を通して愛を世界に拡大せんと尽くされた、正に偉大な先生でありました。

さて、先生の見方も角度を変えて見ますと、色々な見方があるかと思いますが、何方がみても文句なく認めて憚らぬ所は、まず人の見極めの鋭さ、先を見通す目の確かさ、目的に向かった集中力の強さ、人を動かすリーダーシップの強さ、であろうと思います。これを称して弟さん黒羽の和雄先生は兄貴のカリスマ性と呼んでいます。

そして桁違いの酒豪でありました。或る時酒飲みの席で、「酒はいいが空瓶が貯って困るよ」と嘆かれた事がありました。整理に伺いましょうと言う事で行ってみて驚きました。バラ積みにした一升瓶4合瓶も少々在りましたが、住宅の北側、現在車庫に成っている所に4~500本は在ったでしょうか、以来半年に一度ぐらい、空ビンの整理に伺って居りましたが、どう計算してみても一日の飲む量は一升を下らない。其の他に外での会合、宴会数を入れると想像の出来ない数量で御座いました。

たまに我々がお邪魔してご馳走になる酒は、殆んどウイスキー、又はブランディーでありましたので多分日本酒はお一人で召し上がったのであろうと思います。しかも殆んどが、ご自分で購入された物では無いのですから、如何に存在感の大きな人物であったかが想像できましよう。たばこは何時もセブンスターを愛煙して居られましたが、又々これが半端では御座いませんで、50カートン入りダンボールで購入すると言う豪快な喫煙家でありました。従って病院と先生の指は、何時も茶褐色に煤くれて居りました。

そんな先生でしたが、弟さんの和雄先生から見たお兄さんはどんなだったのでしょう。七七忌供養の折、詠まれた短歌を幾つかご披露したいと思います。

尚、和雄先生も和歌の心得は基一先生を凌ぐ領域に在ると伺って居りますが、今は新短歌の世界に興を見出して居られるようであります。

大きく口を開けて 酸素マスクの下で呼吸する兄の姿 長くて辛い時間
呼吸の止まった兄の顔に やっと平穏が訪れた 楽になって良かったね
基督の基を貫って基一になったという兄 カリスマ性はその辺りから
難関を切り抜ける兄の実力 学生時代のノートは見事に整理されていた
籤引きが良く当る兄だったが 未来や人柄まで見通す様な所があった
問一髪満州から兄貴が帰るとソ聯が参戦 何をやってもついていた
餓鬼大将の兄貴 病弱だった私 紙の表裏みたいな二人の人生だった
果断で包容力のある兄貴 意志薄弱な私 共通するのは文学くらいか
花に埋もれた兄貴よ 棺を閉じる前に譲ってほしい そのカリスマ性を
少年時代の兄弟に戻って 時折夢の中で逢えるから 淋しいことは無い

鈴木基一 実弟 黒羽RC 鈴木和雄

鈴木先生の抱いて居られた、愛の心は、我々ロータリアン一人一人の胸に生き続け、伝承されて行く事であろうと思います。

以上鈴木PGを偲んでの拙い追悼の卓話とさせていただきます。

合 掌

ロータリアンとして想うこと

1983～84第255地区ガバナー

初代・第2代会長 鈴木基一



文集「和」第4章ロータリーあれこれより抜粋

奉仕の概念に致しましても各国民に相違があるようです。やる以上は立派なものにというのが日本人のやり方だとすれば、結果はどうであれとにかくやってみようというのが英国人的やり方であるようです。この態度の差が地域活動、市民運動、外国への救援活動等で二国間の差として出て参ります。全力主義は奉仕活動を気軽にやる雰囲気を作りません。東南アジアの難民が出るたびに英国の社会福祉団体は真っ先に奉仕活動を始めるのも、日本が後からおっとり刀で出かけるのも、この気軽さに関係しております。

お国振りを示すこんな話があります。米国の富豪が青いしま馬を見つけた者に百万弗やると申し出ました。ドイツ人は先ず図書館に行って本を調べ、英人はアフリカの地図を買って出かけようとした。仏人はロバに青いペンキを塗り、日本人はロバに青い毛を一本一本植えつけた。スペイン人は百万弗もらえると聞いて有頂天になり、前祝いにドンチャン騒ぎをやったという、落ちはスペイン人の態度にあるのですが、英人と日本人のやり方を取り出しますと、気軽さと全力主義が鮮明になります。

日本人が奉仕活動におっとり刀なのは、全力主義に加えて、いぜん滅私奉公の観念にとらわれすぎているからではありますまいか。即ち公に奉仕するには自分の何かを犠牲にすべきという考え方であります。欧米では公につくすことが自分を生かすことだと思っております。自分にとってプラスだから奉仕するのだという考え方であります。自分の為奉仕するといったら、日本ではしかられてしまうかもしれません。

ところで私達がロータリーに参加したのは勧められもしたでしょうが、最終的には綱領の中に示されたロータリーの原則を受諾し、定款、細則を遵守するという条件の下に自らの意志で参加したことに間違いのない筈であります。ところが日本人は長い間縦の関係で律せられた習慣から、勧められたから何となく入ったという方も少なくないのが実情だと思います。

普通はクラブや会に入会する時には目的、規則、特典、義務等を充分調べて入会されるのだと思います。それがロータリーの場合、ロータリーの原則も基本的特色も、R Iの基本方針も何も知らずに入会しておる方がおられるとしたら、まことに不思議な気がします。

ロータリークラブに入会する時には先ずロータリーの原則や定款細則について推薦者に納得いく迄問い質し、よしそういうことならロータリーに入ろう。そして入会したらその目的である奉仕に邁進しよう。そして奉仕の精神を自分の地域に広めよう。出来れば国際的な事柄にも奉仕しようというのがロータリークラブの会員らしい会員といえるのではないのでしょうか。

ところが現実には必ずしもそうではなく、入会時の挨拶や入会して日の浅い方々のうちには「まだロータリーがよく分かりませんが」と述べられる声を聞きます。日本人的謙譲の美德から云っておられるかもしれませんが、それは謙譲の美德でなく、謙譲の悪徳と云っても良いのではないかとある先輩が申しておりました。

私自身欠陥ロータリアンと常に深く反省しつつ先輩を見習いながら少しでも立派なロータリアンになろうと努力を続けている積もりです。決して100%完全なロータリアンと云うものはあり得ないと思います。完全なものより完全に近付こうと努力することこそ大切であると思います。

反面定款細則に通曉していることを以てロータリーが分かっているとか、区々なロータリー論議で他のロータリアンの言葉尻を捉えて己の方がお前よりロータリーが分かっているのだという様な人は似而非なロータリアンと非難されても弁解の余地はありません。

ロータリーで大切なのは耳や眼や口ではなく、本当に尊ばれなければならないのは足と手です。行動することによって自ずからロータリーの何たるかも本当に分かってきましょう。

しからばロータリーの精神とは何か、哲学的に深く究めればなかなか難しいことですが、私は余り難しい表現を用いることは却ってロータリーの発展を阻害するものと考え、簡単に善意の絆、即ち他人への思いやりと助け合いの実践だと考えております。それだけならば何もロータリーに限らない筈です。ロータリーとしては自己の職場において、同業者間において、個々のロータリアンが進んで実践し、それを地域社会に更に国際間に拡げることが大きな特色でありましょう。

ここで大切なことは個々のロータリアンが自らの意志で実践するという事でありまして、一度自分の意志でロータリーに参加した以上、単なる傍観者である事は許されません。フランシス・ベーコンは「人生という劇場で傍観者たり得るのは神と天使のみであるということを知っておかねばならない」といっております。

無関心なロータリアンがたった一人ではなくて、千人も万人もあったと考えてみて下さい。もし仮に90万のロータリアンの中で一割の無関心なロータリアンがいたとしたら、その数は9万人にも達します。そんなに沢山の無関心者がいたとしたら、ロータリーは忽ち衰退してしまうでしょう。

私は全世界90万のロータリアンは一人残らず献身的ロータリアンでなければならない筈だと思うのですが、しかし現実には残念ながらそうではありません。しかし大多数のクラブでは残念ながらそれが事実であります。無関心な会員が一人でもいなくなるようにするのが、クラブとして最も大切なことであります。その数を少しでも少なくする事に努めるのがリーダーの重要な役目であります。いくら会員をふやしても、その中から沢山の無関心な会員が出来るのでは、ザルの中に水を入れるようなものであります。

クレム・レヌーフ元RI会長は自分の経験を例にとりまして注意を喚起しております。

「ある夜風呂にお湯を満たしておこうと、お湯の蛇口をひねった。だが湯槽の底の栓をしっかり締めておくのをおろそかにしてしまったのである。数分して、もうお湯が一杯になった頃だと思い、浴室に入ってみてはじめてそのことに気がついた。蛇口からお湯は勢いよくぼとぼと落ちており、当然それは目にも見えるし、耳にも聞こえている。だが底から流れていってしまう分については、はっきり見えないし、聞こえてもこない。

これは多くのロータリークラブで実際に起きていることを、ずばりそのまま絵に描いて見せたようなものではないか。その時私はこう思った。蛇口をひねる。つまりそれは立派な将来性ある会員を育てることを意味する。その会員がロータリアンとしての意欲をもてるようにしてあげなければ、そして一緒に参加してもらえような一定水準の活動を維持していかなければ、あるいはまた、やり甲斐のあるプログラムをもっていなければ、いつの間にか傍観者ともなり、いなくなってしまうことになるのである。

ともあれ、「蛇口をひねる前に、栓は必ずしっかり締めておくことにしよう。」と彼は申しております。

ロータリアンは一人ひとりその分に応じ、適性に従って、お役に立ち得るのであります。一人としてロータリーにとって、いてもいなくてもよいロータリアンはいないのであります。もしも自分一人がロータリアンの任務を怠ったとしたら、ロータリーのモザイクは自分のところだけ穴があくのだという自覚をもとうではありませんか。

ロータリーの活動には、その背景として精神的基盤が必要であります。

それは善意でございます。その善意が自然に湧きあふれて行動になる—これが無ければ真のロータリー活動と呼べないと思います。

善意がロータリー活動の基本であり、クラブ運営の根本であります。それが伴わない行動は空虚であり、偽善であるといわれても仕方がないのであります。

R Iの元会長故ニッテン・ラハリーさんのテーマは「心の中に火を燃やせ」でありました。彼のいう心の中の火というのは善意の意味であります。いいかえれば人類愛ということであります。人間がお互いに愛し合おうという純真な心であります。そして「心の中の火」は撰ばれた少数の人だけの所有物ではなく、誰もが生まれながらにして持っているのであります。それには多少の強弱や量の多寡はありましよう。しかし全然持っていないという人はありません。ラハリーさんの願うところはその火を消してしまってはならない。大きな火に燃え上がらせよ、という事であります。

我々は誰も忙しい人間であります。我々は皆時間が足りないのであります。しかしそれでいてゴルフをする時間があり、旅行をする時間があるのです。それはそれで結構です。しかし、それでは何故我々はロータリーに奉仕する時間がとれないのでしょうか。我々は時間をつくらなければなりません。我々は自分で打ち込んでいるもの或いはそれをやることに情熱をもつことには時間をとり、時間をあてる事が出来るのです。それならどうしてロータリーをその打ち込めるものにしないのでしょうか。どうして奉仕の為に時間をとり、僅かほんのチョットの時間を捧げないのでしょうか。若し我々が奉仕の為に時間を捧げればロータリーは尚繁栄致します。

いうまでもなくロータリーは行動—実践の哲学であります。行動実践なくしてはロータリーは成り立ちません。精神運動だけの社会奉仕はロータリーではありません。しかしある行動をなすのに精神活動のない机上のペーパープランや他人の真似事をやって、こと終われりとする自己満足ではロータリーといえないのであります。

ロータリーには理想的な格言あるいは標語が幾つかあります。これらは国際ロータリーによって使われているものであり、あるいはまた歴代R I会長の年度のテーマとして使ったものであります。その中には殆ど神聖化されているものもあります。これらはすべて理想的な考えを表現したものであります。しかし、これらの格言や標語はそれが実行に移されなければ何の価値もありません。全く何の意義もないのです。

理想を掲げることは確かに一つの意義があります。理想は目的を定めるのに不可欠であり、また目的達成の指針となるものであります。しかし理想自体は、それが実行されなければ何の価値もないのであります。

由来日本人は上から与えられたものに従って行く方が安全だというような保身術的な国民性があり、自主性、創造性に乏しいといわれます。自分で工夫し、生み出すのではなく、いわれたからやる、ではお義理になり型に入ったマンネリになるのは当然です。

また我々に要求されるもう一つの大切なことは、ロータリーの本質をつかむということであり、ロータリーには定款細則のほか色々な文献、言葉、解釈があります。その末節のことにこだわって一番大切なことを見失うという結果になりかねません。手続要覧も文献もない時代がロータリーにもあったことは間違いないのです。しかしその時代にロータリーの基礎は出来、着々と発展していたのです。今日では総てが整い、その結果個々のロータリアンが考えることを怠るようになったとしたら、それは大きな損失だと思います。

では「ロータリーの本質」とは何か。奉仕といい、友愛といい、その根本にあるものは、自己中心でなく「相手の立場に立って考えよう」「人のことを考えよう」という基本的な心構えにあると思います。私はこれがロータリーの本質であると考えます。すべてはここから出発します。すべての奉仕事業もクラブ運営もこの基本的な心が無ければ魂の入らないものになると思います。ただし、人といい、相手という以上は当然こちらに自己というものがあります。先ず自己の確立が必要なのであります。ロータリーの奉仕は滅私奉公ではないのです。職業奉仕は、ただで商売しろといっているではありません。友愛といってもお互い相手を尊重してこそ友愛であります。この自他の存立の上に立って人のことを考えようという基本的な心を持って行動に移すのです。

自分としてのロータリー観をはっきりと各人が持つということが大切だと思います。ガバナーが何を考えているとか、エバソンが何と考えているとか、それを考える前に、とにかく自分なりに、自分のロータリー観を持つことです。勿論自分の考え方が間違っていないとは限りませんから、然る後に人の考えを聞くことです。まるで何も勉強しないで自分のロータリー観を作ることは無理ですし、最初から何もかも教えてもらうという考え方は問題であります。成年男子のクラブであり、それぞれの職業分類では指導的立場にある人生経験者の集まりであるのですから、自分ばかり考えるが故に会員になっているのだということを確認する必要があると思います。

非常に立派な奉仕活動をやっておるクラブでも果たしてその本質をしっかりと踏まえてやっておられるかどうか疑問になる場合もあるように思います。

例えば、毎週の例会であります。例会は自分達だけの会合ではありません。ロータリーは誰しも世界中いたる所の例会に出て、その利益を享受する権利を持っているわけですが、その例会の日時、場所が変更されれば出席できなくなって大変迷惑します。

サインだけすればいいから助かるなんていうのは、そもそも何の為にロータリーに入っているのか分からない人です。この例会日の変更は親睦の為の会合と併合される場合が多いようです。親睦は勿論大切ですが、自分達だけの親睦を考えて、人のことを考えないのではロータリーのとはいえないでしょう。また例会でよく問題になる早退私語なども人のことを考えない例といえるのではないのでしょうか。

私はここでロータリーの魅力の現実的な面について触れてみたいと思います。これには二つあると考えております。その一つは事業家の孤独、さみしさを救うものであり、その二つは事業家の不安を除いて、事業家に確固たる処世観念を与えるものであると考えております。ロータリーはポール・ハリスの孤独から生まれたとさえいわれております。

そのように専門職は、極めて孤独な存在であります。また企業が拡大して参りますと社長は段々と孤独に陥って参ります。これらによって起こるところの事業家専門家の孤独。しかしながら、この中にはお互いに共通の喜びと悲しみがあります。この喜び悲しみを語り合って、その孤独を慰めるのがロータリーの魅力の一つであると考えております。

その次には日夜利潤を追ってきゅうきゅうとしている事業家の胸には一種の不安が流れております。人生はこれで良いのだろうか。この不安を除いて、ひとり心の支えになってくれるのは、最も奉仕するものは最も多く報いられるの一句でございます。公共奉仕の願望と事業家の欲求の相克を征服するところのこのロータリーの哲学によって、ロータリアンは自信を持って業務に邁進することが出来るのでございます。

ロータリーは理想家の集まりであり、まじめ人間のクラブなので、いつも理想と現実との間に矛盾に悩むのです。しかし人生そのもの、社会そのものが矛盾に満ちているのですから、ロータリアンが矛盾撞着に苦しむということは、人生や社会をごまかさずに生きている証拠でむしろ誇っても良いことです。

この頃日本のロータリーは形骸化しているのではないかとこの声を聞きます。その反省の声があることは嬉しいことです。

R I から流れ出てくるのはすべて勧告であって命令ではありません。地区ガバナーは指導者ではありません。連絡代表者であり法律顧問であります。

R I は大変親切で、たえず色々な勧告や情報を送ってくれます。しかし、それは料理にたとえるならばメニューのようなものです。いや、なにも全部食べなければならないことはありません。全部食べれば消化不良になり下痢するに決まっています。

その中から自分の腹具合や、ふところ具合と相談して何を選ぶか、その知性と主体性が大切なのです。なにもアメリカ製のバタ臭い料理を無理にたべなくても良いのです。自分の地域社会独特の郷土料理が作れたらその方がはるかにすばらしいのです。

医師でありロータリアンであったかの有名なシュバイツァー博士は数多くの教訓を残しております。博士は「皆さんのなかで本当に幸せになれるのは、人々のためにつくす方法を探し求め、それを見付けることの出来た人々である。これだけは、はっきりいえる」と語っております。

ロータリーを通じての奉仕は、眼には見えない善意の絆で結ばれておるのです。それはかたく結ばれておることもあるでしょうが、時にはゆるく結ばれておることもあるでしょう。ロータリアン同志も、又地域社会とも。その成果が得られるのは各ロータリアン自身が手と足で実践することによってのみ得られるのであると思います。

(1982. 6. 18記)



◇あとがき◇

私が今日あるのも周囲の方々の善意の賜と感謝しております。本書の表題は李王姫殿下より訪韓の折いただきました色紙の「和」とさせていただきます。

青年期は戦時下でありましたので、運命のいたづらでしょうか、三度命をたすけられました。それは徴兵検査の軍医中尉の方、城大教授生田信保先生、五・一五事件の石関栄こと中村壬一先生でした。

旅順高校一回生宇田博作詞寮歌「北帰行」

窓は夜露にぬれて 都すでに遠のく

北へ帰る旅人ひとり 涙流れてやまず

そんな心境で二年余を大陸で過ごした私でした。

嘉寿によせて (平成11年12月発行)



感謝状

2006～07年度
西那須野ロータリークラブ
会長 大原 栄 君

平成19年12月
国際ロータリー第34区
西那須野ロータリークラブ

貴君は当クラブ第36代会長として就任されRI会長
ウィリアムB・ボイド氏のテーマ「卒先よう」に基づき会長
方針として「思いやりの心を奉仕と親睦に」を掲げ
クラブ運営に誠実さと情熱を傾注されクラブの発
展と充実に尽力されました。特に当クラブ創立35周年
記念式典では台湾桃園ロータリークラブ並びに韓国東水原
ロータリークラブの会員と家族の皆様をお迎えし盛大に挙行
され国際親善を實踐されました。また台湾桃園ロータリークラブ
の創立45周年記念式典には、会員と家族20名で出席し友情
を深め両クラブの絆をより一層強固なものにする大きな成果を
挙げられました。またCLPの導入、夏期交換学生の受け入れ
アジア学院収穫祭でのボランティア活動、ポッポ通りの清掃活動
那須塩原ハーフマラソンの支援、那須野原剣道大会の支援など
その活動は多方面にわたり、国際親善、地域社会貢献、
青少年健全育成など、幅広く貢献されました。
その実績は誠に顕著なものがあり、当クラブの発展に多大
なる貢献をされました。貴君の高邁なる奉仕の精神を讃え
クラブ総会に於いて記念品を贈り深甚なる感謝の意を表します。



感謝状

2006～07年度
西那須野ロータリークラブ
幹事 益子 浩君

平成19年
国際ロータリー
西那須野ロータリークラブ
理事長 益子 浩

貴君は第36代大原 梁会長の幹事として就任され、会長をよく補佐すると共に、会長テーマ「思いやりの心を奉仕と親睦に」をよく理解し、ロータリー発展の為、積極的に努力精進され、クラブ運営に尽力されました。

公私共に多忙な身でありながら常に会長と連絡を密に取り、テーマの具現化に向け積極的に活動され、クラブ発展と充実に努力を傾注されました。特に当クラブ35周年記念式典では実行委員会の一員として計画運営に携わり、会長と一体となり立派に遂行されました。また台湾桃園ロータリークラブの創立45周年記念式典には、会長夫妻以下20名で参加され、その準備から実施まで大いに活躍されました。クラブ内の奉仕においても、年間行事の職場訪問、新世代の育成、家族会、地足大会の参加等一年を通して親睦と融和を図られました。また毎月の定例理事会の準備運営、各種委員会への指示及び地足との連絡等、内外共に多彩な会務を通じ、その周到なる準備と適切な運営はクラブ発展に大きく貢献されました。

貴君の崇高なる奉仕の精神を讃え、クラブ総会に於いて記念品を贈り、深甚なる感謝の意を表します。



感謝状

2007~08年度
西那須野ロータリークラブ
会長 磯ヶ谷 正徳 君

平成20年12月14日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリー

貴君は第37代会長として就任ウィルフリッドJ.ウィルキンソンRI
会長の「ロータリーは分かちあいの心」のテーマの下クラブ運
営の実を回られ、進んで奉仕真心の親睦の会長テーマを
掲げ意識の向上を回りました。

特に初めての行事として児童養護施設養徳園、氏家養護
園の児童を招待那須どうぶつ王国で楽しく一日を奉仕致し
ました。又友好クラブの茂原中央RCの15周年記念式典に
参加締結式を行い親睦を回り尚韓国東水原RCの創立25
周年記念式典に20名で参加友好を回り、馬頭小川RC創立
35周年記念式典に参加その他郡山安積RCを訪問親睦を
回りました。

クラブ内の奉仕にも毎月の理事会の運営各委員会への指
示及び地区との連絡等会務を努められその上ガイナー公式訪
問、地区大会第一グループのLM新世代の育成米山英学生の受け
入れポッポ通りの清掃那須野々原剣道大会の後援歳末助け合い
協力家族会観劇会等親睦を回られた結果クラブ奉仕優秀賞米山
功労賞の名誉を受けられました。茲に貴君の奉仕の精
神を称え記念品を贈り感謝の意を表します。



感謝状

2007~8年度
西那須野ロータリクラブ
幹事 星野 仁君

平成20年12月16日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリクラブ

貴君は第37代磯ヶ谷正徳会長の幹事に就任R.I.ウィルブリッドJ.ウィルキンソン会長の「ロータリーは分かちあいの心、そしてクラブ会長の進んで奉仕真心の親睦」と呼びかけたターゲットによって親睦と奉仕の灯を掲げられその大任を果たされました。

特に児童養護施設養徳園と氏家養護園の児童招待事業を遂行されました又創立15年記念式典の茂原中央RCに参加締結式や韓国東水原RC創立25周年記念式典や馬頭小川RC35周年記念式典に尽くされ郡山安積RCの訪問等大いに活躍されました

クラブ内の奉仕にも理事会の運営各委員会の指示及び地区との連絡等多彩な会務を通し終始熱心に努力され年間行事の新世代育成家族会観劇会地区大会第一グループのIM参加ポッポ通りの清掃等一年を通じ親睦と奉仕を回られました結果クラブ奉仕優秀賞米山功労賞の各賞を受けられましたこれも貴君の奉仕の結果です

茲に年次總會の席上貴君の奉仕の精神を繰え記念品を贈り感謝の意を表します



感謝状

2008～09年度
西那須野ロータリークラブ
会長 氷見定明君

平成21年12月15日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

貴君は当クラブ第38代会長として就任され、RI会長 香東建氏のテーマ「Make Dreams Real 夢を叶えろ」に基づき会長方針として「活性化は奉仕と親睦から」を掲げ、クラブ運営に誠実さと情熱を傾注され、クラブの発展と充実に尽力されました。

特にロータリー財団「100%ポールハリスフェロークラブ」としての認証を受け日本国内クラブでは97番目、2550地区では3番目の快挙を達成しました。

また、氷山記念奨学生を伴い総勢22名での氷山梅吉記念館視察研修を行いました。

さらに、第1グループIMの開催、新世代の育成、氷山奨学生の受け入れ、児童養護施設「養徳園・氏家養護園」児童の那須どうぶつ王国への招待、ふれあい祭りイベント参加、マジック学院収穫祭でのボランティア活動、那須塩原、入-フマラソンの支援、家族観劇会等、その活動は多方面にわたり、国際親善、地域社会貢献、青少年健全育成など、幅広く貢献されました。

その実績は誠に顕著なものがあり、当クラブの発展に多大なる貢献をされました。

貴君の高邁なる奉仕の精神を称え、2009～2010年度クラブ総会に於いて記念品を贈り、深甚なる感謝の意を表します。



感謝状

2008～09年度
西那須野ロータリークラブ
幹事 中里幸男君

平成21年12月15日
国際ロータリー第2550地区
西那須野ロータリークラブ

貴君は第38代氷見定明会長の幹事として就任され、会長をよく補佐すると共に、会長テーマ「活性化は奉仕と親睦から」をよく理解し、ロータリー発展の為、積極的に努力精進されクラブ運営に尽力されました。常に会長と連絡を密に取り、テーマの具現化に向け積極的に活動され、クラブの発展と充実に努力を傾注されました。

特にIM開催の実施計画運営に携わり会長と一体となり立派に遂行されました。

また、氷山梅吉記念視察研修、氷山奨学生受け入れ、ふれあい祭りイベント参加等、その準備から実施まで大いに活躍されました。

クラブ内の奉仕においても、職場訪問、新世代の育成、家族会、地区大会への参加等一年を通して親睦と融和を回られました。

また毎月の定例理事会の準備運営、各委員会への指示及び地区との連絡等、内外共に多彩な会務を通じ、その周到なる準備と適切な運営はクラブ発展に大きく貢献されました。

貴君の崇高なる奉仕の精神を称え、2009～2010年度クラブ総会に於いて記念品を贈り、深甚なる感謝の意を表します。



感謝状

直前会長
澤田次男君

貴君は2009~2010年度におけるわが西那須野R.Cの
39代会長として、卓越した識見と手腕をもって、クラブ
の円滑なる運営と会員の指導育成に盡瘁、以って奉仕の
理想実現に献身されました。そして栄誉あるガバナー賞
・ローリー米山記念奨学会4000万円達成功労表彰を
受けられました。茲に貴君の偉大なる功績を讃え
記念品を贈り、深く感謝の意を表します

平成22年12月21日

国際ローリークラブ2550地区
西那須野ローリークラブ会長 渡邊 渉





感謝状

直前幹事
郡司吉一君

貴君は2009-2010年度における、わか西那須野
R.Cの幹事として、重職をつとめられ、公私とも
多忙の身をもって献身的努力を傾注されました
温厚篤実、強固なる責任感によって、能く会長を補佐
し、本会発展に寄与されました。茲に貴君の功績に対し
記念品を贈り、厚く感謝の意を表します

平成22年12月21日

国際ロータリークラブ2550地区
西那須野ロータリークラブ会長 渡邊 渉



ロータリー財団寄付 (36代～40代)

年 度	基 準 会員数	年 寄 付 額	寄付累計額	1 名 当 り 寄 付 額	委 員 長
2006～2007	49	7,144.06	196,240.54	145.79	菊池 悟
2007～2008	52	7,497.10	203,737.64	144.17	小林 武人
2008～2009	48	8,294.00	212,031.64	172.79	福本 光夫
2009～2010	42	7,972.82	220,004.46	189.83	角橋 徹
2010～2011	46	7,072.88	250,276.83	153.76	古森 昇

年度別マルチプル、ポールハリスフェロー

年 度	ポ ー ル ハ リ ス フ ェ ロ ー 氏 名
06～07	益子 浩、高橋智純 (第2回)
07～08	伊藤 進、福本光夫、角橋 徹、塗茂哲治 (第2回)、澤田次男 (第2回) 渡邊 渉 (第2回)
08～09	榎本建司、蜂巢 悟、生駒憲一、神島仁誓、君島一郎 小林 宏、古森 昇、松永直人、松本善明、森 英夫 森木隆一
10～11	小林武人

年 度	マ ル チ プ ル ポ ー ル ハ リ ス フ ェ ロ ー 氏 名
06～07	高橋智純
07～08	塗茂哲治、澤田次男、渡邊 渉
08～09	郡司昌佳、大原 栄
10～11	水見定明 (2回)、池嶋英哲 (2回)

米山記念奨学会・個人特別寄付氏名

2011年6月30日現在 単位：円

氏 名	功 勞 者	金 額	氏 名	功 勞 者	金 額	氏 名	功 勞 者	金 額
青山 吉博	MY2	200,000	角橋 徹	MY2	210,000	大原 栄	MY3	390,000
榎本 建司	MY1	140,000	神島 仁誓	MY1	180,000	岡部 稔	MY3	320,000
福本 光夫	MY3	330,000	片柳 洋	MY3	300,000	大塩 直文	MY2	210,000
郡司 昌佳	MY3	330,000	君島 一郎	MY2	240,000	佐藤 正一	MY3	310,000
蜂巢 悟	MY1	130,000	小林 武人	MY3	300,000	澤田 次男	MY4	440,000
水見 定明	MY4	460,000	古森 昇	準	30,000	関谷 直人	MY5	570,000
星野 仁	MY1	190,000	益子 浩	MY3	300,000	鈴木 明裕	準	30,000
池嶋 英哲	MY4	440,000	森 英夫	MY1	160,000	高橋 智純	MY4	460,000
生駒 憲一	準	60,000	森木 隆一	準	40,000	富田 勳	MY4	450,000
伊藤 俊三	MY3	310,000	松本 善明	準	30,000	渡邊 渉	MY3	310,000
伊藤 進	MY3	330,000	塗茂 哲治	MY3	360,000			

米山功勞者 (Y) : 第1回 (累計10万円以上)
 米山功勞者 (MYマルチプル) : 第2回から9回
 米山功勞者 (MYDメジャードナー) : 第10回以上

準米山功勞者 (累計3万円)
 累計10万円割り

表彰記録 (2006～2011年度)

年 度	年 月 日	名 称	内 容
2006～07	2006. 12. 5	米山功労クラブ (第30回)	落合ガバナーより 第2位 第2位
	2007. 5. 13	米山功労クラブ (第31回) ロータリー財団功労クラブ 会員増強優秀クラブ 出席率優秀クラブ	
2007～08	2007. 6. 10	R1会長賞	第2位 近藤隆亮ガバナーより
	2008. 4. 3	1人当り寄附額上位3位クラブ クラブ奉仕優秀賞	
2008～09	2008. 4. 5	米山功労クラブ (第32回)	羽石光臣ガバナーより 財団法人ロータリー 米山記念奨学会より 国際ロータリー財団より
	2009. 4. 26	社会奉仕優秀賞 (動物たちとの思い出づくり)	
2009～10	2009. 6.	米山功労クラブ (第33回)	4,000万円達成 クラブ第3位
	2009. 6.	100%ポールハリス・フェロークラブ ガバナー賞 「児童養護施設児童那須動物王国招待」 米山記念奨学会クラブ寄付 米山記念奨学会クラブ寄付(1人当たり寄附額)	
2010～11	2011. 10. 16	R1「意義ある業績賞」の認証 5回目	

米山記念奨学生受入れ

年度	奨学生名	国 籍	カウンセラー名	受入大学等	備 考
2007	王 紅梅 (オウ・コウバイ)	中 国	関谷 直人	宇都宮大学博士	
	刘 璠 (リュウ・ハン)	中 国	佐藤 正一	宇都宮大学修士	
	金 多希 (キム・タヒ)	韓 国	大原 栄	宇都宮大学修士	
	レ・フォン・グエン	ベトナム	益子 浩	宇都宮大学	
2008	レ・フォン・グエン	ベトナム	益子 浩	宇都宮大学	
	楊 文婷 (ヨウ・ブン・テイ)	台 湾	小林 武人	宇都宮大学修士	
	シアー・ピエン	カンボジア	富田 勲	宇都宮大学	
	呉 嵩 (ゴ・エン)	中 国	渡邊 渉	宇都宮大学修士	
2009	楊 文婷 (ヨウ・ブン・テイ)	台 湾	小林 武人	宇都宮大学修士	
	陳 則榕 (タン・チュクヨン)	マレーシア	磯ヶ谷 正徳	宇都宮大学博士	
	王 奕文 (オウ・エキブン)	中 国	渡邊 渉	宇都宮大学修士	
	シェイラ	ミャンマー	池嶋 英哲	アジア学院	
	ヌロキナ・キングスレー ・ナムカ	ガ ー ナ	福本 光夫	アジア学院	
2010	陳 則榕 (タン・チュクヨン)	マレーシア	磯ヶ谷 正徳	宇都宮大学博士	
	徐 之英 (ソ・ジョン)	韓 国	水見 定明	宇都宮大学修士	
	劉 大鵬 (リュウ・ダイホウ)	中 国	角橋 徹	宇都宮大学博士	
	グエン・チャン・ニヤー・フーン	ベトナム	澤田 次男	作新学院大学修士	
2011	劉 大鵬 (リュウ・ダイホウ)	中 国	角橋 徹	宇都宮大学博士	
	グエン・チャン・ニヤー・フーン	ベトナム	澤田 次男	作新学院大学修士	
	林 亞嬌 (リン・ヤシヤン)	台 湾	壺茂 哲治	作新学院大学	

会員増減の状況 (36代～40代)

年 度	期 首 (7月1日)	入 会 者	退 会 者	期 末 (6月30日)	備 考
2006～2007	49	5	3	51	2
2007～2008	51	2	5	48	-3
2008～2009	48	6	11	43	-5
2009～2010	43	1	1	43	0
2010～2011	43	4	8	39	-4

会員紹介

- ・氏 名
- ・生年月日
- ・事業所住所
- ・電 話
- ・事業所名
- ・職業分類

凡例 (C…創立会員 Y…米山功労者 MY…米山功労者(マルチプル) F…財団の友
 MYD…米山功労者(メジャードナー) P…ボールハリスフェロー
 MPF…マルチプルボールハリスフェロー B…ベネファクター)

創立会員

伊藤 俊三



1924年10月21日
 入会 1971年11月8日
 9代会長 1982～85地区資金委員
 1989～90地区委員
 1993～94第一分区分区代理
 前副寮いとう
 那須塩原市扇町7-12
 TEL (36) 0028
 (36) 5784(自)
 日本料理 (C・MY₃・P)

創立会員

大塩 直文



1928年8月7日
 入会 1971年11月8日
 11代会長
 大塩整形外科医院
 那須塩原市南町3-9
 TEL (36) 0626
 整形外科医 (C・MY₂・P)

創立会員

郡司 昌佳



1937年8月2日
 入会 1971年11月8日
 4代幹事 21代会長
 2003～04ガバナー補佐
 暇みのり
 宇都宮市桜通り4丁目1番19号
 サーバスシティ桜通り1201号
 TEL 028 (643) 2817(自)
 農機具販売 (C・MY₃・MPF)

創立会員

関谷 直人



1933年11月28日
 入会 1973年9月4日
 10代幹事 18代会長
 1998～1999分区分区代理
 1990～1999地区委員
 2000～2004地区委員長
 関谷商事
 那須塩原市五軒町7-9
 TEL (36) 0135
 日本酒販売 (MY₃・MPF)

創立会員

岡部 稔



1942年3月9日
 入会 1975年1月21日
 16代会長
 1987～89地区委員
 ホテルきぬ庵
 那須塩原市塩原705
 TEL (32) 2010
 ホテル (MY₃・MPF)

創立会員

富田 勲



1937年3月28日
 入会 1979年1月4日
 20代会長 1985～87地区委員
 倉持病院
 宇都宮市今宮町1-6
 TEL 028(658) 8718
 (36) 0900(自)
 整形外科医 (MY₃・MPF)



佐藤 正一

1944年5月27日
 入会 1983年1月11日
 21代幹事 31代会長
 2003～04地区委員
 ㈱立場佐藤商店
 那須塩原市東町7-20
 TEL (36) 0138
 燃料店 (MY₃・MPF)



高橋 智純

1953年7月25日
 入会 1983年2月1日
 28代幹事 34代会長
 2006～2007地区委員
 宗源寺
 那須塩原市東町1-8
 TEL (36) 0168
 仏教 (MY₄・MPF)



池嶋 英哲

1949年11月27日
 入会 1984年8月7日
 18代幹事 29代会長
 2001～02・2005～06地区委員
 2006～09地区委員長
 池嶋酒造㈱
 大田原市下石上1227
 TEL (29) 0011
 酒造業 (MY₄・MPF)



大原 栄

1947年12月14日
 入会 1988年10月4日
 36代会長
 大原クリニック
 那須塩原市東三島3-67
 TEL (37) 1133
 (37) 3911(自)
 耳鼻咽喉科医 (MY₃・MPF)



片柳 洋

1951年6月20日
 入会 1993年4月27日
 24代幹事
 41代会長
 片柳司法書士事務所
 那須塩原市石林224-6
 TEL (37) 5500
 (37) 3318(自)
 司法書士 (MY₃・MPF)



渡邊 涉

1950年9月27日
 入会 1993年3月9日
 40代会長
 ㈱大向電設
 那須塩原市西朝日町9-3
 TEL (36) 4076
 (36) 1538(自)
 電気設備 (MY₃・MPF)



澤田 次男

1950年5月5日
 入会 1994年4月5日
 39代会長
 ㈱澤田書店
 那須塩原市西大和2-42
 TEL (37) 4422
 (36) 1166(自)
 書店 (MY₄・MPF)



氷見 定明

1948年11月3日
 入会 1994年7月5日
 29代幹事
 38代会長
 2010～2012地区委員
 ㈱チキンハウス
 那須塩原市下永田2-1020-3
 TEL (36) 1038
 レストラン (MY₄・MPF)



塗 茂 哲 治

1951年4月19日
 入会 1994年9月6日
 トーコー産業㈱
 那須塩原市三区町659-39
 TEL (36) 0851
 (36) 8538(自)
 鋼製建具取付業 (MY₃・MPF)



青山 吉 博

1950年11月17日
 入会 1995年4月11日
 2008～2012地区委員
 ㈱柏屋旅館
 那須塩原市塩原364
 TEL (32) 2921
 (32) 2922(自)
 旅館 (MY₂・P)



小林 武 人

1940年3月16日
 入会 2007年1月23日
 30代幹事
 ㈱川合ネームプレート製作所
 那須塩原市石林318-1
 TEL (36) 0245
 (36) 7368(自)
 ネームプレート製造 (CY₃・P)



伊藤 進

1948年12月26日
 入会 1998年1月6日
 34代幹事
 ㈱光陽社
 那須塩原市東町2-4
 TEL (36) 0009
 (36) 4763(自)
 印刷業 (MY₃・P)



益子 浩

1956年6月1日
 入会 1998年7月7日
 36代幹事
 2011～2012地区委員
 御インタースリー
 那須塩原市二つ室218-1
 TEL (36) 8585
 (37) 7055(自)
 建築塗装金物設計施工 (MY・P)



角橋 徹

1955年11月27日
 入会 1999年4月6日
 41代幹事
 御カントリー
 那須塩原市睦105-3
 TEL (36) 4414
 (37) 5691(自)
 土地家屋調査士 (MY・P)



福本 光夫

1956年6月26日
 入会 2000年8月1日
 西那須野幼稚園
 那須塩原市西大和6-15
 TEL (36) 0440
 (36) 2422(自)
 幼稚園 (MY・P)



星野 仁

1962年9月6日
 入会 2002年4月2日
 37代幹事
 御星野製種
 那須塩原市五軒町1-24
 TEL (36) 0366
 種類製造業 (Y・P)



君島 一郎

1955年5月16日
 入会 2002年7月2日
 農林業
 那須塩原市関谷63
 TEL (35) 2105
 農林業 (MY・P)



森 英夫

1959年9月14日
 入会 2003年1月21日
 御吉田屋商店
 那須塩原市西栄町1-8
 TEL (36) 0013
 石油液化ガス販売 (Y・P)



神島 仁誓

1953年7月29日
 入会 2004年11月2日
 円光寺
 那須塩原市西原町4-6
 TEL (36) 0476
 仏教 (MY・P)



蜂巢 悟

1962年8月1日
 入会 2006年4月4日
 蜂巢悟税理士事務所
 那須塩原市大夫塚2-199
 TEL (36) 3355
 (37) 5073(自)
 税理士 (Y・P)



榎本 建司

1938年11月27日
 入会 2006年4月11日
 那須野ヶ原土地改良区連合
 那須塩原市接骨木447-8
 TEL (36) 0455
 (36) 1803(自)
 団体役員 (Y・P)



森木 隆一

1967年8月28日
 入会 2007年3月6日
 御森木総合保険
 那須塩原市南郷屋1-159
 プロGRESSハウス106
 TEL (39) 5541
 (36) 9712(自)
 保険業 (P)



生駒 憲一

1967年4月20日
 入会 2008年1月8日
 御生駒組
 那須塩原市大夫塚5-221
 TEL (36) 0648
 (37) 8401(自)
 建設業 (P)



小林 宏

1973年8月8日
 入会 2009年1月20日
 御トラスト精密
 那須塩原市緑1-57-10
 トピックビル203
 TEL (39) 7221
 (28) 1231(自)
 精密機器製造 (P)



松永直人

1958年8月18日
 入会 2009年1月27日
 宇都宮証券㈱西那須野支店
 那須塩原市五軒町6-4
 TEL (28) 5511
 028-648-7151(自)
 証券業(P)



松本善明

1959年6月13日
 入会 2009年4月7日
 ㈱テトラ
 那須塩原市西四区町743-14
 TEL (37) 7339
 (37) 2168(自)
 観光業(P)



古森昇

1967年1月10日
 入会 2009年4月7日
 ㈱ショーエイ通信
 那須塩原市二区町498-64
 TEL (36) 5551
 (36) 8348(自)
 通信機器販売工事(P)



恵利紀之

1969年9月3日
 入会 2009年5月2日
 日本生命保険相互会社
 那須塩原市西大和2-16
 大和町ビル1F
 TEL (36) 0718
 (36) 3649(自)
 生命保険



高橋正晃

1971年9月15日
 入会 2010年4月6日
 ㈱ゆーあい
 那須塩原市あたご町4-1
 TEL (37) 4669
 生命保険



渡邊将宏

1974年12月8日
 入会 2010年7月6日
 ㈱万建設興業
 那須塩原市扇町10-1
 TEL (36) 0075
 土木建設業



荒川久則

1957年1月30日
 入会 2010年7月13日
 大田原信用金庫西那須野支店
 那須塩原市永田町5-1
 TEL (36) 1255
 (65) 2574(自)
 信用金庫



北山公久

1956年7月6日
 入会 2010年7月20日
 栃木銀行西那須野支店
 那須塩原市永田町4-11
 TEL (36) 2115
 028(665)1013(自)
 地方銀行(P)



鈴木明裕

1955年10月26日
 入会 2011年2月1日
 西那須野内科循環器科クリニック
 那須塩原市永田町7-13
 TEL (36) 1100
 (36) 6296(自)
 内科医

哀 悼

2006年～11年の5年間に下記の方が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。



故 鈴木 基一 氏

ロータリー歴 36年7ヶ月
1971年11月1日 入会
創立会員
初代・第2代会長
1983～84第255地区ガバナー
2003年4月13日
超我の奉仕賞
米山功労者(MY)
ポールハリスフェロー
2007年11月13日逝去



故 渡邊 一郎 氏

ロータリー歴 25年11ヶ月
1982年7月6日 入会
第33代会長
2006～2007地区委員
米山功労者(MY)
マルチプルポールハリスフェロー
2008年6月14日逝去



故 野澤 静男 氏

ロータリー歴 15年2ヶ月
1993年10月5日 入会
米山功労者(MY)
ポールハリスフェロー
2008年12月18日逝去



故 鈴木 利男 氏

ロータリー歴 13年4ヶ月
1995年2月21日 入会
米山功労者(MY)
ポールハリスフェロー
2008年7月4日逝去

合 掌

西那須野R.C創立40周年記念式典実行委員会

(1) 期日 平成23年9月3日(土)～4日(日)

(2) 会場 前夜祭(3日夜) 乃木温泉ホテル 記念式典(4日) 割烹 いたう

(3) 組織

ア 顧問	伊藤 俊三	大塩 直文	郡司 昌佳
イ 実行委員長	池嶋 英哲		
ウ 実行副委員長	岡部 稔	大原 栄	
エ 会長	片柳 洋	幹事 角橋 徹	
オ 司会	星野 仁	生駒 憲一	森木 隆一

(4) 委員会 (◎委員長 ○副委員長)

総務委員会 (企画、調整、プログラム等)

◎関谷 直人 ○蜂巣 悟 福本 光夫

登録委員会 (登録、案内状発送、名札等)

◎澤田 次男 森 英夫 恵利 紀之 高橋 正晃 松永 直人

式典及び会場委員会 (式典及び会場設営全般、看板等の設置、交通整理)

◎水見 定明 ○神島 仁誓 小林 武人 松本 善明 渡邊 将宏

◎ソングリーダー 高橋 智純 鈴木 明裕

接待及び姉妹クラブ委員会 (来賓の接待、案内誘導等)

◎佐藤 正一 ○益子 浩 塗茂 哲治 君島 一郎

記録及び記念誌作成委員会 (記念行事記録、写真、記念誌の編集)

◎伊藤 進 ○青山 吉博 福本 光夫 小林 宏 鈴木 明裕

記念事業委員会 (40周年に関する事業等)

◎渡邊 渉 ○榎本 建司 古森 昇 益子 浩

救護委員会 (救護全般)

◎富田 勳 ○大原 栄 鈴木 明裕

会計 (40周年記念行事総会計)

◎荒川 久則 ○北山 公久

編集後記

西那須野RC40周年記念事業がすべて終了いたしました。今回は小さな事業で最大のおもてなしをテーマに掲げました。

姉妹クラブの韓国東水原、台湾桃園2クラブのお出迎えから始まり、会員は実行委員会組織別に任務を遂行し、成功裏に式典を終了することが出来ました。

巻頭ページで「思い出のアルバム」として一連の流れを紹介しております。また、ここ5年間の事柄から「特集」ページを設け、40年間の礎を築かれた伊藤俊三P会長の「記念例会卓話」、関谷直人P会長の「鈴木基一PGを偲んで」、「ロータリアンとして想うこと」として(故)鈴木基一Pガバナーが発刊いたしました「和」文集の一部を掲載いたしました。

記録記念誌作成委員会は写真の記録はもちろん、最近の傾向としてビデオ撮影まで範囲をひろげ、少しでも記録として役に立てればと思い行動をしました。

創立40周年記念誌は、記録としての意味合いもあり、発刊に当たり委員会として式典最後の仕事となります。ご協力頂いた方々に感謝申し上げます。

記録記念誌作成委員会

委員長	伊藤進
副委員長	青山吉博
委員	福本光夫
	小林宏
	鈴木明裕

表紙バナー製作 (有)インタースリー

発行者 西那須野ロータリークラブ
40周年記念式典実行委員会

事務局 〒329-2726
栃木県那須塩原市扇町7-12
割烹 いたう内